京城日報

八月十七日夕刊（朝夕併せて八頁）

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奥山仙三　印刷人 小川三之介

◇米穀收用令發布

十六日午後五時より宮中に於て臨時樞密院會議を開き米穀收用令緊急勅令案を附議決定し上奏御裁可を經て官報號外にて發布せられたり（東京至急電報號外再錄）

◇穀類收用令要項

（官報號外）＝勅令第三百廿四號

穀類收用令要項

一、農相は國民の生活上緊要なる場合は補償金を定め米及び雜穀を收用する事を得

二、農相は此の價格を定め賣却する事を得右と同時に外米管理部を米穀管理部に改め公布の日よりこれを施行す（東京至急電報延著＝號外再錄）

◇仲小路農相訓示

一千萬圓の使途と調節法

十六日仲小路農相は內務部長會議にて一場の訓示をなせるが今回の騷動を遺憾とし聖旨に對し恐懼措く能はずとなし更に一千萬圓の使途、調節方法の大要を左の通り述べたり

政府は地方米貯藏者と協議の上公共心に訴へ米の配給を潤澤ならしめんとす無理なる價格にて徵せず若し故なく出穀を肯んぜざる時又は不當の代價を要求するもののある時は已むなく法令を適用して徵收する事あるべし斯くて得たる米は中產階級の困難者を保護するため特別の施設をなし相當割引を以て供給し得る途を講じ貧民階級には慈善的恩惠に依り廉賣方法を取らん（東京特電延著＝號外再錄）

◇米廉賣方法

內務部長會議結果

內務部長會議に於ける恩賜金、救濟資金に關する指示事項左の如し（東京特電）

一、恩賜金、義捐金は米穀廉賣の資に供す

一、廉賣の範圍は中流以下とす

一、廉賣方法は公共團體、產業組合、慈善團、白米商をして實施せしむ

一、可成廉賣に均霑する樣方法を講ずる事

一、廉賣は約二箇月半持續的に爲す

一、廉賣程度に留意し各府縣懸隔無く價格に高低なからしむべし

◇水野內相訓示

十六日內務部長會議に於ける水野內相の訓示要旨左の如し（東京特電）

最近米價騰貴し生活の不安を感ずるは極めて遺憾なり　聖慮洞達內帑金下賜の御沙汰あり　聖慮優渥恐懼措く能はず夙夜　叡慮の萬分の一に報へん事を期す、諸君宜敷く左記の訓示に從ひ有効に之れが支出方法を講ず可し　政府の調査に據れば米穀缺乏せず、今國庫を支出し配給法を講じ居れり、飜て需給關係一段の圓滑を加へん、諸君宜しく部內に實情を說述し民心を安からしむるを期す可く秩序破壞者は取締を勵行す可し、今や公私團體の救濟に盡す者多く仁人所在に起るは、予の欣快に堪へざるところなり、官民一致時艱に處し國民生活の安定に務む可し

◇過激反過激交戰

過激派兵漸次增加す

陸軍省着電＝沿海州方面に於て敵は小部隊を以て攻擊を試みたるもカルムイコフ枝隊は之を擊退したり住民の言によれば鐵道線路東方近く右翼方面ウスヘンカ（シマコフカの東）附近には敵兵逐次增大し約八千となり又敵はウスリー河に在る筏を利用し之に機關銃を備へ付けたり（東京特電號外再錄）

◇日本出兵歡迎

北滿洲の一般人民は我出兵實現の期近きを知り邦人は固より露國の有識者は非常に悅び支那人の態度亦良好なり（哈爾賓電報號外再錄）

◇極東敵軍兵力

極東に於ける敵軍兵力は沿黑龍州方面一萬六七千後貝加爾方面一萬八千なりと（東京特電＝號外再錄）

◇チエツク答禮使來朝期

チエック國民評議員ステパノフはチエックに來援せる我國の厚意に對し謝意を表す可く十六日浦鹽出發來朝すべし（東京特電）

◇英軍爆彈攻擊

ヘーグ元帥公報＝我軍はペロンヌ、カンブレイの停車場に四十五噸の爆彈を投下し猛烈なる攻擊を加へたり尚英飛行機十二臺行方不明となれり（倫敦電報）

◇閑院宮台臨

閑院宮同妃殿下並に若宮春仁王殿下は十六日午前七時上野發北海道樺太へ赴かせらる途次青森縣下の赤十字支部總會、愛國婦人會支部總會等に台臨さるべし（東京特電）

◇大隈侯歸京

大隈侯は十五日輕井澤より歸京せり（東京特電）

◇大島陸相奏上

大島陸相は十六日午前六時二十分上野驛發日光御用邸に伺候重要案件奏上の上即日歸京せり（東京特電）

◇加藤子罹病

加藤高明子は輕井澤にて病氣に罹り東京より醫師出張せり（東京特電）

◇米價記事解禁

內務省發表の者に限る

禁止中の米價問題記事は十六日より內務省發表のものに限り掲載を許されたり（東京特電）

◇關東州動員法施行準備

時局の進展に伴ひ關東州內及び滿鐵職員にも內地と同樣動員法を施行すべく目下都督府と拓殖局の間に交涉中なり（大連特電）

◇政友大會延期

十八日札幌に於て開會の筈なりし政友東北大會は時局に鑑み無期延期に決したるが札幌支部大會のみは開會すべしと（東京特電）

◇米價善後策

十七日馬山の主なる官民會合し米價暴騰救濟善後策について協議せり（馬山特電）

◇人見局長通過

人見鐵道局長は十七日朝釜山上陸ホテルに少憩の後北行せり（釜山特電）

◎穀類收用令內容

＝全文六箇條より成る＝

穀類收用令は勅令第三百廿四號を以て十六日發布されたり其の要領に就ては取敢ず號外を以て報道する處ありしが該令の全文左の如し

第一條　農商務大臣は國民の生活上緊要なる場合に於ては補償金額を定め米雜穀を收用し又は其の指定したる者をして之を收用せしむることを得

第二條　前條の規定に依り收用し又は收用せしめたる米雜穀は農商務大臣價格を定め之を賣却し又は其の指定したる者をして之を賣却せしむる事を得農商務大臣の買入又は買入せしめたる物に付亦同じ

第三條　第一條の補償金額に對し不服ある者は收用の日より三月以內に通常裁判所に出訴する事を得前項の出訴は米雜穀の收用を停止せず

第四條　第一條の規定に依る收用を拒みたる者は六月以下の懲役又は三千圓以下の罰金に處す

第五條　第二條の規定に違反し農商務大臣の定めたる價格を超ねて米雜穀を賣却したる者は三月以下の懲役又は千圓以下の罰金に處す前項の場合に於ては價格を越たる部分の金額は之を沒收す若し其の全部又は一部を沒收すること能はざるときは之を追徵す

第六條　本令の施行に關し必要なる事項は農商務大臣之を定む

本令中農商務大臣の職權に屬する事項は地方長官をして之を行はしむる事を得

附　則

本令は發布の日より之を施行す

東京たより

救急策の決定

八月十三日午後五時　東京支局にて　白蘇鐵

▼聖恩優渥仁德海の如く、只今御內帑金三百萬圓を下し、米價騰貴して細民窮乏の狀に在るものを惠ませ給ふと承る。前夜來、所在府縣の騷狀、宸襟を煩はし奉り遂に此の御沙汰あり、寔に恐懼の至りに堪へず

▼本日、午後一時より開かれたる臨時閣議は當面救急の措置如何に就て熟議し、遂に一千萬圓の國庫支出を斷行し、米穀の需給狀態を急速に整理するに決す。案ずるに米價の爲に一般生活の最も脅威せらる可きは新米出廻り期に至る前後約一箇月の間に在り。此間の需給を整理し、更に此際私利を專らにして公益を忘る、徒に對し斷乎たる處置を執らんとするに於て政府は尤分なる決心を有するものゝ如し。

▼今次の饑饉は所謂凶年の饑饉にあらず。米無きに非ざる也。有りて喰ふ能はざる也。最も持米の賣惜みを爲すものは中農也。彼等は自ら喰ふを得ざるが爲に賣らざるに非ずして、利を貪らんが爲めに賣らず。而してまたそのために最も脅迫されたるは所謂健實なる中流階級なり。彼等は將に衣食足らざるに至りて禮節を失はんとす。若し敢て言はしむれば彼等も衣食足らざるに非ず、只彼等の要求したる生活の標準に於て衣食足らざるのみ。吾人は外米、朝鮮米の買付に自家一個年以上を支ふる數量を山込むもの頻々たるを聞いて窮乏餘裕ある貧民振りに驚かざるを得ずんばあらず

▼唯、今次、大阪、京都、神戶、名古屋を中心とせる諸都市の騷擾は寔に痛償の恨事に屬す。初め彼等の中の或る分子の擧げたる叫は生活の壓迫より發せられたる最も同情す可き動機を有せしも也。然るに一轉し、再轉して、群集心理の暴するに至りて、その爲す所は放火也、掠奪也、殺傷也。從來、所謂成金の言動が激成せる反感が如何に根强きものありしとは言へ、純良の民衆が遂に常習的煽動者のために利用せられ、純乎たる暴民と化し去るに至りては、吾人は聖代曠古の時局に際し我國民的節制の爲めに遺憾無き能はず、而して吾人は此機會に於て國民が尚更に幾多の瀕死的陶冶と試練とを經ざる可からざるものあるを痛感せずんばあらず

◇通貨收縮前途

當局依然中庸策固持

通貨收縮の前途に就き市來大藏次官は語つて曰く、時局以來貿易の進展に伴なふ通貨の激增に就ては貿易と通貨との間に一條の調和線を劃し貿易の盛況を維持する程度に於て適宜通貨の收縮を爲したり之一面平凡の策なるが如きも反面中庸の策たりしなり而して今後如何にす可きやと言ふに一部論者の如く物價騰貴に顧み大規模の收縮策を執り日銀公定金利を引下げんか生產資金の缺乏、事業衰退勞働者の解散となり濟ひ難き慘劇を經濟界に誘發する事となる可し又本年上半期の收縮に見るに入超貿易進展の度に比し輸出は一層頓挫し財界不振の聲此の方面より起る無きを保せず政府當局としては從來の方策を改めず矢張中庸を得たる途を踏むの至當なるを思ふ（東京特電）

◎日露貿易近況

日露協會の調査に係る本年六月中の日露貿易重要輸出入狀況を聞くに輸出通計三百八十四萬三千百三十一圓再輸出品價四萬二千二百八十一圓輸出合計三百八十八萬五千四百十二圓輸入通計十三萬八千三百二十四圓再輸入品價二萬六千六百三十二圓輸入全計十六萬四千九百五十六圓なるが之を前月に比較すれば輸出全計百四十一萬二千四百三十一圓の增輸入全計四十萬一千八百六十圓の減少を示し更に之を前年同期間に對比すれば輸出全計四千五百八十七萬八千九百九十三圓の減輸入全計八十六萬七千六百廿八圓の增加を示せり今輸出入品の主なるものを擧ぐれば左の如し

▲輸出品之部

食鹽	二七一、八五五圓
綿フランネル	一一〇、九九九圓
綿木綿	二九六、二九三圓
生金巾及シーチング	一八三、九二一圓
天竺布	五〇、一五一圓
其他綿織物	一、九五九、六三〇圓
毛織物	三〇、三四三圓
[illegible]	一五二、七五一圓
鐵製品	三六、八三七圓

▲輸入品之部

豆類	二三、七三七圓
獸骨	二、五六一圓
サントニン	三、七五〇圓
其他雜品	一〇一、〇六〇圓
小包郵便物	七、二二六圓

◎鮮米輸出狀況

自昨年十一月至本年八月十日

昨年十一月以降本年八月十日に至る迄の鮮米輸出狀況を聞くに輸出數量十四萬六千三百三十四石にして內譯は輸出制限令施行以前六萬二千八百三十二石制限令實施後八萬三千五百二石にして前年同期に比し二十八萬二千十六石の減少一昨年に比較すれば七萬四千百十一石の減少なり而して輸出未濟數量（輸出許可せるものの中）一萬三千八百九十五石總計十六萬二千二百廿九石にて右の數量は約十箇月の食糧に該當せるが一年の所要見積數量三十二萬一千五百五十九石と比較すれば約六箇月の食糧に相當するに過ぎず輸出許可出願に對しては哈爾賓以外は事實上別段制限せしことなく許可したるも該制度發布の効果として輸出入者の自發的制限に依る減少を來し此上制限を加ふるの必要なきに至るものとす尚主要輸出先の白米一石當小賣相場は八月十五日に於て大連四十六圓六十錢、安東四十圓、長春四十八圓六十六錢六厘即ち大連安東長春は滿洲各地中最も輸出の多かりしものを選びたるに拘らず米價は輸出の比較的多からずして在米の品薄なる事實を確むを得べし

◎通貨膨脹理由

健全なる步趨

中村鮮銀應務局長談

朝鮮銀行券の發行高は十五日六千九百四十八萬圓を示し十六日現在は六千九百五十一萬圓に及び連日

▲發行の新記錄を作りつゝあるが銀行券膨脹の原因が米の買付資金に充當されつゝある故との說に對し中村朝鮮銀行應務局長は曰く鮮銀券は五月末若くば六月上旬を以て最低とし爾來日漸く增加を示し近時の發行高も昨年の大節季の記錄を破りたるため甚だしき膨脹を一時に見たる樣思はるれど事實は然らず毎日十萬若くは二三四十萬圓宛の膨脹にて極めて堅實に

▲發行高の增加を見居れるなり又米高に際し買付資金の需要が發行高を著るしく膨脹せしめたりとの說は予の俄に首肯し難き所なり唯米高の結果三四月頃に銀行より貸付け昨今回收期に達せしものが未回收の儘經過し居る事實はあり而して他の新なる貸出し增進のため銀行券の膨脹を誘致せしめたる如し乃ち米高と銀行券とは結果より見れば同じ事なれども其の道程には大なる差違を見る更に鮮滿共に商界の夏枯れの事實は若干あれど

▲漸次薄らぎ行く傾向あり夏時に銀行券の增加を見たりとてその率が漸進的のものならば何等特異とするに足らず

◎醫專校規程改正

京城醫學專門學校規程中改正の件は十九日府令を以て發布さるべし

◎連絡小手荷物賃金引上

安藤運輸課長談

九月一日より朝鮮線と鐵道院の連絡小手荷物賃金約二割方引上げらるれ又八月三十一日より大貨物速達扱ひ廢止されしが右に付安藤運輸課長は曰く

▲小手荷物運賃改正の理由は鐵道院にて九月一日より賃率を引上ぐる事となりし結果鮮鐵も之れに伴なふ事となれりコハ鮮鐵も鐵道院も從來同一賃率にて連絡運送し長距離となれば遞減法を實施し居れり然るに今回鐵道院が賃率を引上げし結果鮮鐵にて現行賃率を存置する事とせんか鮮鐵と院線と別々に賃金を計算せざるべからず假りにその煩ひは可なりとするも荷主は長距離遞減率に浴し得ず反つて高き賃金を支拂はざる可からざる事となるなり、尚ほ朝鮮線內の小手荷物運賃は九月一日以降と雖も動かず

▲速達便廢止　大貨物速達便の廢止理由は利用者少く一年約五百噸內外に過ぎず又實際本制度の存置は必ずしも一般の便益を大に增進すとも思はれず普通の取扱ひと殆ど差なき事並に速達扱ひは朝鮮線のみの特種制度にて滿洲線に連絡せず旁々兩線輸送の統一を圖らんとする主眼より月末限り廢止を決行すべし事情上遞の如きに付何等影響なからん

◎沿海州行郵便

長春經由[illegible]可能

ポクラニチナヤ露支國境に於ける郵便連絡再開せるに付朝鮮より沿海州方面行きの通常郵便物は元山浦鹽間船便に依る場合の外內地發賀局經由に限らず長春郵便局經由の遞送も差支なき事となりたり

◎開城驛移轉計畫

開城停車場は市街より遠隔の地に在るを以て交通頗る惡く日々集散する貨物の運賃、破損其他種々の利益と不便とを感じつゝあり一般有志は數年前より現停車場を市街の西端に移轉せしめんことを希望し居りしが本年は三四萬圓の工費にて改築すべき內議ある由なるを以て數日前面長並に學校組合管理者連名を以て其の筋に移轉方を請願せしが有志等は夫のみを以て滿足出來ずとなし過般來實地を踏査し係員に就て技術上の說明を求むる等着々移轉に關する調査を進めつゝありしが愈々調査完了せしを以て十五日小學校に有志約四十名會合し種々打合せを爲したり（開城）

◎高島中將著期

公式著任儀式

新任第十九師團長陸軍中將高島友武子は十九日午前九時十五分龍山驛著列車にて公式に著任の事に決定せり

▲著任儀式　高島新師團長著任に付騎兵中尉若くば少尉の指揮する騎兵一個小隊の儀仗を附すべく又龍山驛前より師團長官邸までは步兵第七十九聯隊野砲兵騎兵各中隊堵列迎送し軍司令部構內よりは禮砲式を行ふ事となれり

▲伺候式　十九日午前十時より第十九師團司令部樓上に於て高島師團長は師團管下將校以上の伺候を受くべしと

入社の辭

玄洞　早田元道

余、乏を京城日報主筆の任に受け今日以降、日々に讀者と筆硯の間に相見ゆんとす。竊に思ふ、材短くして識淺く、加ふるに朝鮮の事情に關して、知る所未だ多からず、唯其の職責を汚さんことを是れ懼る、のみ。若し夫れ語りて詳かならず、論じて正鵠を逸するものあらむ、願はくば識者の叱正を仰ぎ、以て將來に資益せん事を。語に曰く、葑を采り菲を采り下體を以てすること莫れと。幸ひに大方の寬容を待つ。

茶前酒後

◆歷史は繰り返す者也、とは能く史家の口にする處。歷史が繰返さるゝか、將又出來事が偶然、過去の歷史と一致するものか。其の如き理屈は、先づ後日に讓り。現今世界に於る、最古の歷史を有する支那歷史と、現時の世界の出來事を比較せんに、其類似の點多きは洵に面白き對照也。

◆其の一は、人口增殖獎勵策也。春秋時代、越王勾踐も亦、多大主義を獎勵せり。第二は、使臣の往來頻繁。第三は、戰爭の政治代言論化とす。

◆第四は、反間苦肉策の濫用也。漢楚の興亡も亦、劉邦が陳平をして、巧に散布せしめし、黃金四萬斤の力に因れり。第五は、秦と燕國との末路が、殆ど其の揆を一にするは殊に面白からずや。

◆第六は弱邦の蹂躪と、國際地圖の變化。第七は、軍馬の非常徵發。第八は劣等外國民の援兵。第九は、婦人の使役也。

◆第十は、勤儉令の勵行。第十一は、禁輸令。第十二は、銅器の禁令。第十三は、數萬の降兵。第十四は、戰時利得稅及び、非常增稅。第十五は、軍事內閣の成立也。

◆第十六は、出兵の途を、他國に藉ること。第十七は、暴民一揆。第十八は、糧食大臣の新設、治粟都尉若くは搜粟都尉の創設。

◆第十九は、自個の利害の爲、特に其聲を大にし、陰然衝突を來しつゝも、表面丈けは、一致して共に敵に當る事。第二十は、聲明に由る講和條件の探り合也。

◆以上見來れば古今一轍の感無き能はざると共に、更に深き史味を感ぜずんば非ず。之より進んで、講和談判期にも入らば更に倍々史味の深きものあらん。

◆節立秋に入りてより、既に十數日、暦上早くも秋は到りぬ。夕陽西に沒して一浴の後、部に南緣に立てば風秋に涼しく、籬に蟲の音を聞く。洵に自然には爭はれぬものゝ也。此瞬間こそ、眞に別乾坤に遊ぶの思ひあり。洵に朝鮮の秋は賞すべし。

別府土地信託株式會社株式募集

▲當會社の事業　世界的溫泉地たる別府海岸大通に沿へる砂濱貳萬四千七百坪を埋築し市街宅地を獲得すると共に進で一般不動產に對する信託事業を經營するにあり

▲企業地の價値　別府の地は世界無比の泉都として浴客一ヶ年百六十萬人に及び旅館常に滿員し市街地殊に海岸地は狹隘を告げ寸地を餘さゞる狀況にあり宅地の賣買時價坪八拾圓以上百五拾圓を唱ふる盛況にあり

▲工事の安全　企業地は沖先小部分を除き全部露出する砂濱なれば平均約十二尺の盛土にて埋築容易なるも工學博士石丸重美工學博士笠井愛次郎兩氏に依囑し其指導監督の下に設計を爲し之が絕對安全を期すべし

▲當會社の基礎　企業地には既に竣成地三千五百坪あり然かも其內二千二百十坪を拾七口とし最低七拾圓最高百圓平均八拾五圓を以て年賦豫約賣買の申込あるを以て此金額約貳拾萬圓は當然會社の收得すべきものにて外に一萬千餘坪も一等地として一坪六拾圓以上百圓の價値を有する市街宅地なるを以て當會社の基礎確固なる事は明なり

▲埋築市街地の特典　會社の收得すべき宅地は十五ヶ年間地租及附加稅免除の特典あり該期間內に租稅として支拂はるべき金額坪約貳拾圓にして工事費其他一切の諸費を併算し會社の收得する坪當り元價は約貳拾七圓なれば恰も利益と見做さし宅地を買入れたると同一の結果を生ず

▲採算上の利益　當會社は三ヶ年間にて合計百五拾七萬餘圓の大收得あるも利益配當は主として年賦即金の利息に依り初年度一割二年度一割五分三年度より二割を持續すべく尚信託事業に依る增配あり最終には實得利益金の五十四割以上資上增金を加へ八拾割以上の積立金を得實に他に比類なき安全第一の放資物なり

募集要項

一資本金總額　金壹百五拾萬圓（此株式參萬株）

一公募株數　五千株（此金額貳拾五萬圓）

一公募價格　額面

一申込株數單位　拾株以上

一申込證據金　壹株ニ付金貳圓五拾錢（第一回拂込株金ニ併算）

一申込期限　大正七年八月十七日ヨリ八月廿二日迄

一募入決定方法　應募株數ガ公募株數ニ超過スルトキハ發起人ニ於テ適宜募入ヲ決定ス

一第一回拂込株金額　壹株ニ付金拾貳圓五拾錢

一第一回株金拂込期限　大正七年九月五日限り

申込用紙設立趣意書、目論見書等は左記取扱店に備置候

發起人總代　橋本喜造

發起人及賛成人（○印發起人）

大阪府　[illegible]

兵庫縣　[illegible]

引受株數參萬株の內貳萬五千株は發起人に於て引受け五千株を公募す

申込取扱店

東京　東京銀行本店　同本鄕支店　同神田支店

大阪　藤本ビルブローカー銀行本店　加島銀行本店

神戶　[illegible]

名古屋・京都・廣島・門司　[illegible]

小倉・松山・宇和島・川ノ石・大分・別府・臼杵・福岡・京城・釜山・仁川・大邱　[illegible]

創立事務所　大阪市東區横堀一丁目十五番邸　藤本ビルブローカー銀行內

全東京出張所　東京市京橋區山城町十五番地　株式會社藤本ビルブローカー銀行內

大正七年七月一日改正現行

◎嬉しさに泣く細民の群……

愈々始つた救濟會の施米
働き盛りの怠惰者も來た
初日午前の施米は一石七斗餘

米價の昂騰による細民の救助及び米の廉賣を其目的として設立されたる京城救濟會にては豫定の如く愈々十七日午前八時より細民の救助として明治町二丁目元漢城病院跡及び龍山榮町京城府出張所の二箇所に於て

◇施米を開始 せり記者が元漢城病院跡に係り員の施米振を見様と思つて馳せ付けた時は朝の十時半頃であつた、門口には『京城救濟會施米所』といふ新らしい掛け札が附し玄關左手に『受付』一寸這入つて右手に白米やら粟やらの俵を小高く積上其側には白米と粟とを一杯溢れさせた大きな米箱が並べてあつた既に係員は一般の鬪を濟ました處で『今丁度細民の一團が歸つて行つた所です朝から今迄（十一時）施米を受けに來たものは戸數で十三、人員大人十九人小人十七人、

◇施米石數は 白米と粟とを合して一石一斗と云ふ勘定になつてゐます其の內內地人が一人やつて來ました後は總て朝鮮人で主に光熙町、蓬萊町、中林洞方面から來る人が多い樣です……』と云つて居た其の內に又一人二人と三々伍々已に生活と云ふものに倦み疲れたと云ふ樣な態度をした爺さん、婆さん連が各々包みをかゝへてトボ〳〵とやつて來る係員は一々叮嚀に取扱ひ白米と粟とを量つて包んで與へてゐる樣は見て居た丈けでも有難い樣な氣持がした中にはまだ若い働き盛りの

◇怠け者迄も 施米を受けに來る斯んな不心得な人間に對しては係の警察官から一々懇々と說諭を加へてやつてゐる。朝から本町署の小串田署長、府の北村事務官、會議所の釘本副會頭等がやつて來て一々施米の狀況を視察して居た係り員は更に語を繼いで曰く『朝から此處へやつて來る人々を見て居ますと身にボロを纏ひ力なく這入つて來るものもあれば眼の惡い人、足の惡い人若くは白髮の老人が其子供に助けられながら淚を流して辭儀をするもあるといふ……何あに施米を受けに來るものは玄關の受け附けに警察の調査による施米券を出して

◇一應の質問 に答へ其れから直米箱の側にやつて來て白米なり粟なりを受け取ればそれでよいのです極めて簡單で少しも繁瑣な事はありません……』と話して居た施米の人員は徐々增加して行くばかり正午締切迄には施米戸數二十戸此の人員大人三十二名小人二十三名合計五十五名を算し施米の石高白米八斗七升粟八斗七升合計一石七斗四升を示して居た

◇細民施米の第一日　十七日明治町元漢城病院にて

▽米の廉賣はいよいよ

十八日朝九時半から

豫報の通り京城救濟會では十七日から細民に對して施米を始めたが更に十八日午前九時半からは京城に七箇所（南大門小學校、若草町西本願寺、櫻井町小學校、鍾路小學校、梅洞普通學校、校洞普通學校、於義洞普通學校）及び龍山に二箇所（元町小學校、龍山小學校）で一般人に對して白米の廉賣を開始することゝなつた廉賣の方法其他の注意事項に關しては屢々本紙に書いた通りであるが尙は此の廉賣の實行方法として理事者側では廉賣券を作成してゐる

▲廉賣券七種 此の廉賣券は石拔米、石不拔米、外國米の三種にして更に一升券（黑刷）二升券（青刷）五升券（赤刷）に區分されてある而して石拔米の方は天無色、石不拔米の方は天赤色としてある又外國米の廉賣券は赤紙で二升券の一種に限られてある即ち以上を合計すると廉賣券の種類は都合七種になる譯である

▲取集め困難 又理事者の側では天候不良等の關係で廉賣に供する白米の取り集めに困つて居たが若も廉賣中白米に不足を來す樣な事が起つた時は直ちに其の米方を夫々係へ通知して迅速に廉賣をするとの事である

▲廉賣の期間 廉賣の期間は勿論確然とは分からないけれども多分一箇月位の間であらうと云ふ事である其期間中でも白米の市中相場が三十錢以下に暴落したら中止することがあるかも知れない而し之も今から心配する必要は決してない筈である

▲廉賣の分量 此度の廉賣では一升、二升、五升の三種の廉賣券を作つて之れ以外の分量は決して賣り出さない事になつて居る即ち一人で十日に一回一升二升から左も無くば五升を賣り出す譯であ

▽外米到著期 待焦がる、七千袋の外米は商船會社嘉東丸にて十七日神戸愛の入電あり仁川へは廿一日入港の豫定也

る又翌日になれば右の範圍で廉賣を受けて良い譯である、此際公德心を缺き私利を營まんとして一人にて幾回も廉賣を受くるが如きものある時は監視の警察官に於て相當取締りを爲す筈であると

◎見渡す限り一面の泥海

▽麻浦の慘狀

出水に馴れて居住民は落着いてゐる

水害を訪ねて麻浦方面に向ふ、桃花洞の手前、京義線のガードの下の電車線路は、所謂、山からの水で深く泥に埋められて電車を通じない、溢水をさけて漸くガードをくぐれば倏忽に見る一望

▽…濁水漫々 の境である、美しき桃花洞の楊柳の並木より附近一帶の草原、さては畑地のすべてを泥海となして、彼方東幕の丘は、はるかに島となつてゐる、麻浦監獄煉瓦工場の看守は語る『朝の七時頃に山の方から出て來た水がまづ、一帶に溢れて電車道をあの通りにしこゝらの床上八寸を浸したのです、それから一時引いて、今また漢江から上つて來てゐるのです』指ざす方麻浦の船着場の方には漏船の數が

▽…杜を林立 させて溢れてゐる、小舟が濁流をさけつゝ、何かを運びでもするかの樣に右往左往してゐる。そこからともなく甲高な叫び聲が聞こゆる。憲兵分遣所に甕見氏を訪ねると『米の救助の調査で眼を廻してゐる』と是です、もう、漢江の增水は二十六尺にもなりませうか、まだ〳〵增しませうね。何でも麻浦の標で一時間一尺以上宛增水して居ますから夜までには、此處の床に上るかも知れません。但し

▽…警報には 江原道は降らないとの事ですから案外出ないかも知れません。補助員が調査に行きますから、一緒にいかゞです』といふので、高い丘の道を稅關監督所の山に登つてそれから低い麻浦の九番地から百六十五番地方面を踏査する。みんな川岸の人々の水には馴れてか、案外落ついた者である。それに麻浦の人々は本宅を多く山の手の方に持つてゐて、川添ひは倉庫や、店や、船宿やになつて居るので、避難すべきもの、運ぶべきものは多く山の手に運ばれ盡されて多くは

▽…家の看視 勞々增水を見てゐる人々である、其でも米の叺と鹽の叺を持運ぶ三四の人を見たが『これですから被害は少いのです。河童で、馴れた者です』と憲兵補助員は指ざした。水標の處で見た增水は朝十五尺のものが午後五時五分で二十六尺三寸になつてゐた。其處に見る漢江は永登浦を近くして、幅十七八町だと云ふ人の語る泥海であつた、麻浦の

▽…浸水家屋 は床上に達したもの廿戸、床下廿三戸、廿六棟と算せられた。尙、泥海の中の孤島となりし栗島は數十戸、十亭里、玄石里の數十戸も亦浸水の厄にある樣に眺められた（十七日午後六時）

●遠征途中入京した民間飛行家

築でお馴染の瀨尾氏と共に、セミヨノフ軍に飛行機をもつて壯勇の征途に上らうとする尾崎行輝氏を（大門驛に迎へる………『寫すのですか、僕はまあいゝでせう。……それでは瀨尾さんと並んで……。さうですか……だが四年前、僕の奴はあるでせう。あれは焼けましたかな。』……と尾崎氏はなか〳〵記憶がよく如才ない『ではもつと光線のよい處へ行きませう』とは口く明るい方へ歩き出してカメラの前に立つ。少し横に向いて右の肘な心持擧げて、キツと一方を睨む。そして右の手で靜かに、背廣の前ボタンを下から二つかける『よろしいのですか』と靜かに歩み出す、そして瀨尾氏に促されて朝鮮ホテルの自動車に乘つた。『は、今夜の奉天行でまた出發します、……ではまた後程ホテルでお眼にかゝりませう』瀨尾氏はうれし相に元氣がよかつた。（十七日午前九時四十分南大門驛にて）

◎戰雲漲る西伯利へ

＝遠征する民間飛行家＝

……病後の面窶れした尾崎行輝氏は多く語らず夫でも豪快にハツハと笑つた……

瀨尾榮太郎氏と共にセミヨノフ軍を助ける爲め遠征の途中入京朝鮮ホテルに入りたる民間飛行界の驍將尾崎行輝氏を訪ふ、川寄醫院にて入院して居たと云ふ尾崎氏は、痛々しく面窶れして暗い顏をしてゐる。『四年前、共進會の時一箇月程滯在してゐましたが、あの時は京城も賑やかでしたね、その當時にくらべると大變に淋しくなつた樣に思ひます』

▽西伯利へは 今度が始めてですが飛行機はもう向ふへ行つて居ます、器械ですか、別に何とも、まあ私の考へた、とでも云ひませうか西伯利の氣流の研究？ハヽヽヽ』と稍元氣よく笑ひながら、失禮ですが一風呂あびて來ます、少し疲れて居りますからと辭する。同席の瀨尾氏が後を引受ける『尾崎さんとは

▽舊知の間柄 でしたので、暑苦勞々如何ですとお誘ひした處『よし行かう』といふ樣な譯で出發される事になつたので私も人を得た喜びに溢れてゐるのですが、今伯の所病氣で可成無理をしない樣にと、此處へも下車した譯です。飛行機はもう行つて居ますが、後から尙六七臺は來ることになつて居ます。尾崎さんにはでまづ當分器械の組立から技術の方面を主として受持つて頂くので

▽飛行は露人 に遣らせるのですが、素的に巧いのが居るのです。これでお互に溜飮が下る譯です、これからはうんと飛んでやつつけてやります……氣流は東西伯利は上空氣壓の衝突がなく、それに山が殆どないのですから着陸も自在です。－セ軍の退却ですか、そこには底もあり蓋もあるでせう、何しろ、セミヨノフといふ男は、公明な、野心私心のない偉丈夫ですからね』と

▽意味ありげ に言葉を途ぎらし『後貝加爾州を救ひ、呪ひの過激派を擊退することは沿州民の要望であるのですから。それを私等は助けるのです。そこに意味も價値もあるのです、從つてチェック軍との交涉も充分についてゐるのです、職局は、これから、如何變化するかは測られませんが、兎に角、これからを見てやつて下さい。』と眉を上げた。

◎食料が豐富で牧畜が盛ん……。

我軍の前進したニコリスク
＝浦鹽よりも重要な地點＝

浦鹽に上陸した日本軍は意氣漲々上陸式を行ひ步兵の一部は直ちにニコリスクに向ひ前進したが在留邦人は勿論過激派以外の露國人及びチエツク軍は我軍旗の翻へるのを見て歡喜抃躍して迎へた事であらう、ニコリスクは浦鹽から百三十露里ばかり北にある黑龍鐵道と東清鐵道との

▽…分岐點で 人口四萬七千農業の中央市場と稱せられる程の重要都市であり且つ軍備の點から言つても、革命前迄は浦鹽の後援として第一、二の兩師團が置かれてあつた程であるから何れかと言へば浦鹽よりも重要の地位を占めて居ると言はねばならぬ、戰局が左ういふ風に發展するか解らないが追々過激派軍を壓迫して奧地に驅逐する樣になると、ニコリスクを中心として一方はハバロフスクから次第〳〵に黑龍鐵道を

▽…西に進出 し一方は東清鐵道に依つて滿支國境方面の我派遣軍と連絡を取るやうになるであらう、前述の如く農業の中央市場だけに麥、馬鈴薯、燕麥類は豐富に生産するし牧畜は盛んであるから物資の供給は潤澤の筈である、朝鮮人も亦多數農業に從事して居る同市には移民局を始め其他官衙公署等の建築が多いばかりでなく地方軍隊の中樞部が置かれてあつただけに多數の軍隊が乘込んでも不自由はなく病院も大きいのがあるから

▽…赤十字等 に利用するには充分の設備がある譯であり目下ニコリスク、ハバロフスク間で過激派軍と鬪つてゐるチ軍を背後に精鋭無比の日本軍が控へてゐる事となつたならば勇氣百倍して敵に當る事が出來やうし兵器彈藥も又充分に補充されるから鎧袖一觸の槪をもつて過激派軍を粉碎するであらう（小田榮氏談）

◎鈴木商店五十萬圓を寄附す

東京の細民救濟資金中へ

鈴木商店東京代表者は十五日水野內相を訪ひ五十萬圓を細民救濟資金中に寄附申出でたり（東京特電）

◎少壯華族の活動

結局救濟會に義捐

米價問題騷擾に對し皇室の藩屏たる華族が袖手傍觀するは穩かならずとの意見を有ふ者少壯華族間に多く此際華族一團となり相當醵金すべしと稱ふるも結局澁澤男等の救濟會に對し各自義捐して聖旨の徹底に貢獻すべしと（東京特電）

◎調節策の影響で大連暴落

五十四錢から卅八錢

內地及び朝鮮に於ける米相場調節策及び都督府に於ける米價調節案は大連に影響し爲に大連に於ける米相場俄に低落し一時五十四錢を唱へたるも十六日朝に至り三十八錢に暴落せり（大連特電）

◎長春驛倉庫全燒

市中混亂す

十六日正午長春驛前保稅倉庫の一部より出火全燒せり時節柄市中非常に混亂せり（長春特電）

□救濟會寄附

…十七日午前分…

金百圓　秋吉富太郎
金百圓　三田政治郎
金百圓　麻生音波
金百圓　崔萬燮
金一千圓　鈴木商店京城支店
金三百圓　新井虎太郎
金百圓　淺松太郎
金二十圓　岩見伊勢松
金五十圓　安住時太郎
金五十圓　南源太郎
金百圓　平田智惠八
合計金二千二十圓
累計金一萬八百二十圓也

◎支那汽船離礁 既報支那郵船チャイナ號は滿潮を利用して離礁せしめ十五日午後八時半橫濱に入港したるが損傷は輕微なり（橫濱電報）

◎鳳一行は青島へ 東京大相撲鳳、千葉ヶ崎一行は十五日六日目にて大連を打揚げ青島に向ひたり（大連特電）

◇各地の白米

＝十七日小賣値段電報＝

▲群山　白米一升三十六錢十六日と變動なし
▲鳥致院　一等三十七錢二等三十五錢十六日と變動なし
▲公州　三十五錢
▲木浦　三十九錢十六日同樣
▲全州　十六日と同値三十八錢
▲裡里　四十錢

緩衝機（投書歡迎）

米を廉くする秘法　經濟生可通

◆今度の米問題で全然仲買人と云ふ者を除外して考へて見よ、即ち生產者と消費者と直接の交涉だと考へて見ると總て問題が起り得るか否か釜山の如く五十二錢に迄釣上つた米が新穀が出廻つた譯でも外米が多量に輸入された譯でもないに昨今四十錢を割り三十八錢に迄も激落する樣な現象が起るかどうか

◆米の如きものは需用が一年平均したものであつて斯くの如くしさすれば相場の亂高亂低は生產消費兩者間に介在する仲買人の御都合からである、仲買人が自己の懷を肥やす算段からである。生產者も消費者も取次人の指の先き一本で赤くなつたり青くなつたりしなければならぬ今日の世の中であると見るも至當とすべき汽車に乘つて見ても百姓は三等で地主でも大地主で無い限り一等二等には乘らぬ處が米の仲買でもやらうと云ふ連中は二等で角帶に金鎖位を卷き付けて納まつて居るつまり仲買は儲る商賣と斷ぜなければならぬ

◆今日の如き好景氣な世の中では一割以下の利廻りでは事業を始める者は無い有樣であるにも拘らず生產者たる百姓は米を作つて內地の話だが僅に一步二厘乃至よほどよくて二步の利廻りにしか當らぬ物價が騰貴し生活が向上する時代に之ではいくら百姓でも可愛さうだ、仲買人が儲け過ぎるからと云つても仲買人全廢論は經濟原則を無視した話だ

◆そこで私は愚案を提議して識者の一考を煩はし度いと思ふつまり成る可く仲買人の手から手に移る事を防ぐする爲めに近頃方々で研究されて居る公設市場の如き者の手で直接生產者から消費者の手に入る事にし內地は內地、朝鮮は朝鮮で各々秩序的に各地を統一して調子の狂はない樣にするのだ

◆其の爲めには是非政府の盡力と云ふものは必要となつて來るが國家百年の計を慮つて見る甚さもなる事であるから可なり大きい努力ではあらうが是非當局も一奮發して貰ひ度い之さへ實行が出來れば生產者も今より數倍の利益を得て消費者は廉い米を食ふ事が出來るし全國の米の在高もハツキリ判ると云ふ者だ讀者の御贊成の方はありませんか

◎素晴らしい [illegible]

南大門驛より汲車のごと、なり十九日午前六時頃 [illegible] は物凄き雷鳴を伴ひ午前三時頃 [illegible] あり消防隊は非常召集を行ひて水 [illegible] 問題となりしに其筋にてグン〳〵 [illegible]

◎內地新聞發賣禁止　十五日發行の東京各新聞中國民東京日々 [illegible]

演藝案內

米國ユニバーサル會社特約　東京小林商會一手代理店
活動寫眞常設館　有樂館　電話（階下）二一〇五番
當る八月十六日より公開
◎實寫　鰐狩　全壹卷
◎人情活劇　米國ユ社バイソン映畫　馬賊の最後　全貳卷
◎「アイリン、セジウイツク」孃出演　フレッド、チャーチ氏　米國ユニバーサル社第三回超特作品
◎社會劇　拜金狂　全五卷
名優　メリー、マイラ氏出演
◎喜劇　物價騰貴通し
◎人情活劇　八人畏　全五卷

明治町二丁目　浪花館　長電二六〇番
八月十四日より開演
東京大阪合同落語家大一座

櫻井町　大正館　電話八七三
當る十六日より特別大寫眞
◎新派悲劇『霜夜の月』全四卷
◎連續第二『秘密の王國』全三卷
◎滑稽

本町一丁目　壽館　電話一〇五〇
新舊劇　八月十七日五回目替り

黃金館　電話二六三七　二六六
◎眼覺しき大寫眞◎
◎灸の半內　全三十五場
◎百萬弗の秘密
◎味原池心中　全三卷

自動車
本校卒業生愈々不足校外生と雖も運轉手技師販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送
東京市京橋區　東京自動車學校
大阪市西區岡町　右大阪講習所

御旅館　朝日館

好評　經濟的事務用　金ペン付
パインビジネスペン
定價壹圓九拾五錢
京城太平通二丁目　京城日報代理部

◎双眼鏡◎
◎十五形　六枚玉　十二圓
◎十三形　六枚玉　十一圓
外三十錢　送料
右申込付送金御下命願上候
京城太平通電話三一八番
京城日報社代理部

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥
チケスチン
食慾が進まない時に食慾を促す元氣が衰へた時に活力を與ふ貧血のものには血液を補給す精力の增進と體重の增加を促す現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる說明書進呈
東京本町　藥種問屋　岡城商店

○感謝狀金銀杯受領
○有名なる御影石●特色は美術彫刻　明治元年創業
石碑
●建築石●石燈籠●神社佛閣石
○誠實に熱心の勉强!!
平清

荊妻咲子儀豫テ病氣ノ處療養不相叶十五日午前六時鄕里ニ於テ死去致候間此段謹告候也

夫　井上要二
親戚總代　三好和三郎

追而葬儀ハ鄕里ニ於テ執行可致候也

友人總代（イロハ順）
服部豐吉　西脇豐造　小田省吾　大垣丈夫　大山一夫　金谷充　橫山彌三　田中半四郎　成田忠良　上野歡三　上村加久治　眞野富太郎　藤村忠助　肥塚正太　柴崎鐵吉

井上會長御令閨咲子先生豫テ御病氣ノ處十五日午前六時御逝去被遊候ニ付卒業生一同ヘ謹告候也

私立京城女子技藝學校　芳蘭會幹事

（十七日午後六時より十八日午後六時迄）
◎日出　五時五十二分
◎日入　七時二十二分

○臨時列車運轉

鐵道管理局にては天候も恢復したるより第三回元山海水浴行き臨時列車を十七日午後十一時[illegible]

○開城の落雷と出水

十五日夜より十六日曉に渉る豪雨[illegible]所々故障を生じ、西本町の南側と大和町の川沿ひの箇所は何れも浸水中には床上まで浸されたる家も[illegible]尤も落雷、浸水共に人命には死傷なかりしも南城川の出水は昨年も一昨年も苦き經驗を甞めたることゝて兼てより同川の治水は開城の希望し居れり、十七日[illegible]署長、[illegible]守面長、面相談役等は親しく被害の實地を視察し善後策を協議せり（開城特信）

○連絡船上陸客

十六日朝入港新羅丸上陸一二等客　一等（八名）白石人作、森川千丈、同恭子、和田嘉勝、寺山武司、同やす、同和久、角田榮蔵　[illegible]小川や[illegible]、和田[illegible]、小島[illegible]、山崎[illegible]吉、池上政[illegible]、竹本[illegible]三郎、岡田[illegible]、[illegible]てる、同みつ子、同正雄、横川篤、梅序末太郎、山路一秀、菊谷俊作、山田あや子、同しずね、岩本こと、松村國太、三角哲夫、森本兎之助、坂本庄作、重田秀三、宮[illegible]二等（二十七名）石川仁平治、中川思進、[illegible]迪有、成計、鈴木武成、中村五郎、林韓太郎、加納俊一、小林義彦、作田莊一、湊信三、田口角太郎、長塚夫、工藤さき、酒井

豫報　後[illegible]　晴

京城測候所（八月十七日正午）　華氏　七十七度四分　攝氏　二十五度二分

前日最高温度　華氏　八十一度八分　攝氏　二十七度一分

百十八日（ひのとの年）

八十八夜　五月二日　[illegible]　入梅　六月十一日　[illegible]　半夏生　七月二日　[illegible]　二百十日　九月一日　[illegible]　彼岸　三月十八日　九月廿日　社日　三月廿二日　九月廿日

日紙上お伽講演

時局物語　小さき愛國者（一）

龍山　涙光

眞砂子がお父さんやお母さんに連れられて、住みなれた炭坑の村を後に、玄海灘を渡つて朝鮮の土地を初めて踏んだのは、今から十年前の日露戰爭が濟んでまだ間もない頃でありました、その時五ッであつた眞砂子は當然ならまだお母さんのお乳を握つてお駄々をこねても仕方のない頃でありますけれども、その時眞砂子は三ッになる弟と二ッになる妹の姉さんでありました、眞砂子は途中ちつともむづからないでお父さんに抱かれて初めて見る汽車の窓からの景色の種々を

『お父ちやん、あの棒が立つてるのは何？』

『あれは電信柱だよ』

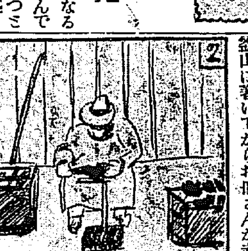
『デンチンパチラつて何をするもの？、誰が家を建てる柱なの？』

てな事を質問したり、時々は

『もちもち龜よ、龜ちやんよ』

と面白い節をつけて唄つたり機嫌よく、玄海灘の一夜も明けて釜山に著きました

お父さんは日露戰爭にも出征しましたが、戰後の朝鮮は景氣がいゝから何か一つ仕事を見付けてと出かけて來たのでありました、釜山に著いてからお母さんが赤ちやんを生む月であつたのに長い旅をしたものですから急にお腹が痛くなつてお父さんは小さい子供を三人も連れて、持つて來たお金もみんなお母さんの病氣に使つてしまい、眞砂子が



『赤ちやんが生れた、わたち、また姉ちやんよ』

妹が生れたから、ちやんにんのと喜んでゐる頃には、お父さんはどうする事も出來ないで困つて居りました、しかたがないのでお父さんは軍隊で習ひ覺えた靴の修繕を思ひ立ち靴直しに身を落して毎日天秤棒をかたいで町から町を

『靴なほし、靴直しありませんか』

と歩いてゐました、お母さんは病後の身體が思はしくないのに四人の子を連れて、月を半分は樂がないでは過ごせないで居りました、斯うした間にも年月は流るゝ如く過ぎ去つて眞砂子は尋常科を卒業する頃となり、最う五人の弟妹の姉さんでありました、お家の苦しい生活もよく知つて居り、お母さんの御病氣も氣にかけて、お友達が遊ぶ時も眞砂子は五人の弟妹を守してよく連れて遊んでやりました、學校でもお友達一人あるではなし

『ねえ、眞砂子さんのお父さんは靴直しよ』

『あらま、さう？いやねえ』

とみんなから、さげすまれて居るかわかりません、しかし眞砂子には唯一の慰みがありました、それは受持ちの安藤先生の優しいお情でありました、安藤先生は眞砂子のお家の事情をよく知つてゐて

『きつと偉くなるのですよ、人がなんと云つても、眞すぐに勉強さへして居れば、きつと神樣は味方をして下さるのですからね』

と云つて下さるお言葉が何より嬉しかつた、どんなにお友達から笑はれて口惜しい時も悲しい時も、先生のお言葉を力に勉強しました、いくらお父さんが働いても物價は天井知らずにドン／＼昂がつて行きますので依然として生活は苦しう御座います、眞砂子は遂にこの貧しい一家の犧牲となつて近頃非常に景氣のいゝ兼二浦の三つ葉と云ふ旅館に奉公をする事になりました、

しかしお母さんは年も行かない者を奉公さすだなんて、いくら何故と云ひ餘りに可愛相だつてお泣きになりました、お父さんは

『ほんとに濟まない、許してお呉れ』

と、まあ、勿體ない頭を下げて詫て下さいます、お父さんやお母さんと別れて奉公するのは眞砂子も悲しいには悲しいけれども、それよりもまだ小さい妹達や弟達が姉ちやんが居なくなつたらさぞ淋しい事だらうと眞砂子は泣きました

兼二浦に行つて二箇月初めて奉公する眞砂子には旅館の女中は餘りに重い仕事でした、煤煙の街が黄昏れて、鐵燈く光りが青く光る八月初め、夏の夕べを、向ふの丘から職人が歌ふ

鮎は瀬に住む、鳥木にとまる、人は情の下に住む……

悲しい節の歌を聞いて眞砂子は南の國の港の町の貧しい兩親と淋しい五人の弟妹を偲んではなきました、しかしこんな時にはきつと安藤先生のお言葉と此處へ來てから頂いたお手紙とを思つて氣を取り直しては働きました、世の中は急に活氣附いてきて町には號外の鈴が勇ましくも人の心を躍らします、突然、〇〇師團に〇〇が下つて日本は西伯利に出兵する事となりました、〇〇は半島に出稼して居る人達の上にも飛びました、眞砂子のお母さんは今月赤ちやんを生む事になつてゐました、俄然、釜山の眞砂子のお家には電報が舞ひ込んで、お父さんは、病む妻と六人の兒を餓ゑの中に投げすて、出征しなくては、ならない事になりました（つゞく）

元山の一日

親方は日の丸（3）

……看護婦にしては惜しい女……

横になつて見る、眠れない、眠らうとすればする程益々眼が冴えて來る——問題は前號の續きで矢張り汽車の中だ——斯んな時に野狐禪でも好い、多少その道の心得があるならば魂を臍下丹田は愚な事、睾丸の先端まで落ち著けて忽ち心機の轉換と出たものをと口惜んで見たが後の祭……。眠れぬ儘に乘務員に話しかける

『皆で何人ばかし乘りましたか』

『左樣、普通乘客が百二十人、管理局の職員家族が三十人餘り、夫に齋々乘務員を加へるとザツと二百人近い人數です、第一回にくらべると稍や尠いが之で天氣さへ好かつたら……』

『無理もないですね、此の前のやうな天氣に二百人も出掛けるなんて豪氣ぢやありませんか、尤も會社に取つては格別有難くもなからうけれど……』

『矢張いくらも何んともありませんやけれど會社としては地方の繁榮の爲め損徳に拘らず行つて居るんです、損徳に拘らずね』

『臨時列車は確か後もう一回でお仕舞ひでしたね』

『客さへあれば、何回でも出しますさ何しろ今云つた通り損得は眼中にないのですから』

この處乘務先生大分お得意の樣子だ、前の妥協將軍が頻に妥協々々を連發したやうに、此人は又矢鱈に損徳々々を連發して、宛ら自分が損徳を眼中に置いて居らぬやうな口吻、エー吹けく、親方は日の丸だ。

前の座席に看護婦が居る、お定まりの眞白い著物をきて、兩手をチャンと斯う膝の上に置いて、座席に傍り懸りながら愼しげに眠つて居る、矢張女だ、然も看護婦にしては惜しい程の美人だ、鼻も高い耳も遠い、オット是は戲談だが兎に角美人だ掘り出し物だ、此奴この儘にして置くのは勿體ない、幸ひ人も寢靜まつたやうだし『ウン』と云ふか『嫌』と云ふか、物は試しだ當つて碎けろ——なんて久米仙ならば思つたかも知れない、が然し、御安心召され、拙者は何うもしやしない。

○豐作の又豐作

◇昨年より更に三割增◇

全北各地に於ける本年麥作は殆んど空前の大豐作にして或る地方の如きは豐作を唱へられたる昨年に比し更に三割以上の增收を見るべく今沃溝郡内に於ける本年麥作豫想高を聞くに大麥一萬九千六百三十八石小麥一千八百〇二石にして昨年實收高に比し二割增收の由なるが本年實收高は目下調査中にあるも寧ろ豫想高以上に達すべしと（群山）

○群山の稻作

群山府の隣郡沃溝郡内に於ける稻作状況を聞くに植付後は適當の降雨ありて水を得たるも梅天久しきに亘りて氣温は低下し農家は一般に憂慮しつゝありしが幾莫ならずして天候順調となり稻の成育に何等の被害なく殊に七月中は水の適量を得たる天候の佳良なるは稻作の上に一點の申分無く尚ほ八月に入り旱天の餘りに打續きたる爲め畓は稍水不足の状態となり農家は一般に降雨を俟つの状況にある所謂天眞なるかな十三日早曉より盆を覆へすが如き豪雨至り水に渇しつゝありし畓に充分の潤ひを與へたり斯くて植付け後の經過と現況を以て本年稻作を卜するに豐作を見るは疑ひなかるべしと（群山）

○鮮商の施米

慶北淸道郡大城面高陽洞居住の米穀商李永喜といふ人は郡内屈指の米穀商であるが近來諸物價の暴騰に連れ下層細民の生活難は愈々其度を增し見るに忍びざるものあるを以て此際何等かの方法の下に之が救濟を爲さんと思へる矢先同地警察にても同樣の見解の下に之が救濟方を勸告する所ありたるより愈々決行するに決し此程淸道警察署に對し西貢米十石（價格二百五十圓）の施米を申し出したるより同署にては近く同面居住の極貧者に對し懇諭の上分配する由なるが同氏は右の外淸道驛附近の内鮮人に對し釜山の時價より一升に付五錢の安値にて白米の小賣をも爲す由申出たりとは感ずべき事なり

○一升十四錢五厘

但し价川鐵山從事員に限る

米が四十錢も五十錢もするといふ世の中に精白米一斗を一圓四十五錢粟一斗を二圓二十五錢で賣つてゐる所が朝鮮内にあると云はゞ何人も驚異の眼を瞠つて吃驚するだらう……それは朝鮮の平安南道价川郡に於ける三井鐵山會社の從事員に對して實行しつゝある所である、三井鐵山に於ては昨年來各所に從事員や工夫及び坑夫のストライキが頻發するのに對して早くも是れが豫防策を講じ食料品は勿論日用雜貨を安く多量に買込んで之を儲け無しで從事員や坑夫等に頒賣してゐたが端なくも近頃の如き諸物價の狂騰を見るに及んで益々其の効果が顯著となり未だに前記の如き大破格の廉價で日用食料品を供給してゐるので他の各鑛山では坑夫が續々逃亡するに係はらず价川鐵鑛のみは此の憂ひが無いとは何しろ結構なことである因みに同鐵山の所長は鈴木工學士である（平壤）

○廿萬石は大丈夫

慶北道内のみで＝　本谷慶北農業主任談

慶北に於ける本年の米作豫想は未だ的確なる數字を擧ぐるを得ざるも去る三日より九日迄管内高靈、星州、漆谷の各郡に於ける農況視察の結果と道種苗場に於て執行中の豐凶考照試驗の成績とを對照するときは兩々其趣きを一にするを以て略全般を推測するに難からず即ち本年は近年に無き豐作にして昨大正六年度の收穫高百五十萬石に比し約廿九萬石の增收を豫想せしめ尠くとも十五萬石以上の增收たる事は確言を憚らざる所なり、其主因とする所は例年植付は七月末日を以て漸く之を了する例なるにも拘はらず本年は去る七月卅日以來の降雨にて六月下旬より七月十日迄の間に一齊に植付を了したること本年は土用半ば迄は一般に多雨にして氣温低き傾きありしも半ば以後は天候を回復し日照時多かりし爲め稻の成育旺盛なるが上溜池其他に相當の水量を蓄へ且つ今後萬一旱魃に失するが如き事ありとも本月中は灌水に窮せず且つ本年は比較的除蟲劑なる天候を持續したる爲め一時浮塵子發生の恐れを抱かしめしも幸ひにして今日迄未だ其憂ひを見ざるに加へ一般農民は昨年來米價騰貴の情勢あるに鑑み本年は特に施肥其他稻作上に力を用ふるの傾向あるに由るものにして兎に角本年の豐作なる事は今日既に動かす可からざる所なりと（大邱）

○天地を搖がす歡の聲

白衣の婦人團が美しき花束を捧げ　歡呼の聲は先君が代の奏樂より始る

市民よりチエック軍來るとの報に接したる哈爾賓露國人の歡喜は直ちに彼等を驅つて軍隊歡迎の準備に忙殺せしめた愈々チエック軍が午後四時に哈爾賓驛に到著すべしとの號外を手にしたる記者は頃合ひを測つて停車場へ馬車を急がせた見ると停車場の屋上には無數の三色旗が樹て連らねられ、先づ最初に盛に歡迎の意を來るべき勇敢なる兵士達に示すを誇るかの樣に威勢善く風に飜つてゐた、雜沓を極めた人込みを分けて漸とプラットホームへ出て見れば早や此處も歡迎の群集で一杯である不圖右手を見ると其處には三張り程大幕を張り廻らして其の中に

堆高く積上げし

慰問袋や其他の慰問品が一つ／＼早く勇敢な兵士達の手に渡るのをさも待兼ねてゐる樣である歡迎者たる夫人や令孃連はなるべく純白の衣を纏ひ贈呈する爲めの花束を携帶して出て貰ひたいと云ふ前日發表された歡迎準備のプログラムに注意が有つた通り淡白した純白の輕衣を身に纏つて美しい花束を携へてゐる婦人の數が實に夥しく群集の中に見受けられた歡迎準備委員の一人であらうか一人の年增の婦人は彼方此方の群集中に散らばつてる婦人を花束を携帶することを聞はずお婆さんでも小供でも手當り次第に引張つて來ては群集の一番前へと集めてゐた『マダムは前へ出て下さい』『マダムは此方へ來て下さい』と群集中を一生懸命になつて奔走してゐる容子が宛然自分達

女で無くつては

歡迎する資格が無いと云ふ樣にも見ゑて可笑しかつた　愈々四時三十分頃待ちに待つた勇敢なチエック軍の先發三個大隊を載せた列車は來た群集は狂氣の樣に帽を打振りウラーの聲を張り上げて熱烈な歡迎の意を示した、車中のチエックの將卒は皆嚴肅な態度でもつて之に答禮してゐた、汽車が停ると待ち兼ねてゐた婦人連は各車窓へ向つて

美い突撃を試み

將卒は長途の遠征にて聊か憔悴の見ゆる其の顏に微笑を浮べて嬉しげに美しい花束を受取つてゐた、暫くは斯うした事で時が經過してゐたが間も無く下車した百名餘りの兵士は指揮官の號令の下に銃を擔ひ歩調正しくプラットホームの中央に進み出て整列した、待ちうけた歡迎團は歡迎の辭を述べる爲めロフイッキー大佐の周圍に集まつて先づ最初に市長の歡迎演説があり次いで支那側代表者の演説それから三番目に我が佐藤總領事が歡迎の辭を述たのに次いで英米佛等の各國領事の歡迎演説が濟むとチエックの美しい一少女はチエック語を以て答辭を述べ尚ほチエック軍樂隊は各聯合國の熱烈なる同情と好意を感謝する爲

『君が代』を始めに

各國の國歌を高く奏し其の感謝の眞情の溢れた樂の音は快よく場内に響き渡つてゐて聞く人の耳を喜ばしめた、斯くて一通り挨拶が濟んだ後で歡迎委員は兵士達を天幕に導いて各自に慰問袋を渡してゐた、全部がネコロフスキー兵營に落ち著いたのはかれこれ七時頃であつたらう（哈爾賓）

○露貨と生牛

淸津に於ける時局の急迫に伴ひ國境方面の露貨相場は頓に騰貴を示せるが之れと同時に一時閑散なりし生牛輸出は軍用を當込みて俄に盛況となり新阿山の如き六月中に於ける輸出牛は僅々千餘圓に過ぎざりしに七月に於ては下旬のみにても六十五頭價格六千九百九十二圓の露領仕向けあり又龍洞に於ても七月中百五頭一萬九百四十七圓の之亦露領仕向けありしが今後時局の發展に伴ひ將來益々多額の輸出あるべき見込なり（淸津）

○四鄭線延長

四鄭局長[illegible]君は先に大連出張滿鐵會社を訪問し四鄭線延長につき協議する處ありしが今回成案を齎らして北京に出張し支那政府の許可を得る筈なりと云ふ局長今回の計畫は四鄭鐵道の延長及び延長せんとする方針確定せらるゝものにして同鐵道に取りては消長の別るゝものなりと謂ふべし（四平街）

○咸北の模範農里

咸北道に於ける農事の改良は多年模範洞里を選んで大々的に施設せる結果各般の施設に於て大々相當の成績を擧け居るが未だ充分ならず去る三年八月道通牒を以て模範洞里契農事實行事項を定め模範とすべき洞里契を指定し之れが實行を企圖したるが其事項が多岐に亘り居たる爲め却つて繁雜に陷り其成績を擧け得ざるより今回更に模範農里設置要項に依り適當なる洞里契を選び模範農里を設置する事となり適切なる施設事業を定め一定の計畫を樹て指導奬勵し顯著なる成績を擧け一般の模範たらしむべしと（淸津）

兼二浦異聞

◇◇興行税を賦課せず◇◇

内鮮何れの都市に於ても劇場に於て營利を目的とする興業に關しては行政廳に於て興行税を徴收するに拘らず兼二浦は堂々たる劇場を有し常に興行の絶間なき有樣なるに松林面事務所に於ては奇怪にも之れに對し興行税を賦課せず然れば面の財源は豐富なるかと云へば常に豫算なしで總ての事業は行き詰まり勝ちであるとは誠に驚き入つたる面事務所である

◇◇一晝夜死亡廿人◇◇

兼二浦に於ては昨今死亡者頗る多く爲めに葬儀舍成金が出來さうだが八月十二日から十三日の朝迄に警察官駐在所に埋葬認許を願ひ出でし死亡者十八名其他行倒れ二名合計廿名の死亡者あり（兼二浦）

○圍ひ米各地に多し

地方の農家には在米潤澤なり

案外多き貯米

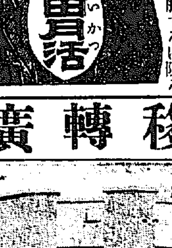
淸州（忠北）來信忠淸北道各地とも一時の人氣にて米價狂騰したるも農家には圍ひ米案外に多く二百石位を貯藏し居る農家は珍らしからず大抵な家にても三十石乃至五十石の持米ある模樣なれば地方鮮人は却つて都會地の馬鹿氣たる相場は一時的の現象と認め居る状況なれば米價の前途は各地に倣ひ漸落の外なかるべしと

麥と去年の米

大邱來信、慶尚北道にては本年の麥約一割の增收を見豫想外の豐作なりしと昨年の產米未だ約一萬五千石を藏するを以て今日に於ては米の拂底を見るが如きことは斷じて無かるべし（大邱）

胃が丈夫であれば、膽力も強健になる、頭腦も明晰になる、而して有らゆる活動にも堪へ得る樣に成る胃を丈夫にするには、我陸海軍の五大軍醫が合議して調劑した、健胃劑中の王と云はるゝ胃活を服するに限る

胃病良藥



定價　胃活壹圓、五十錢、三十錢、拾五錢　胃活錠一圓、[illegible]　本舖　東京日本橋本銀町　山田安民藥房　大阪南久寶寺町二　山田安民藥房

一貫社の

◎醫藥學會新發見根本的禁煙劑　味液◎何の苦もなく禁煙ができ香も煙草以上其上無害　以内で事が足り外に衛生上絶對無害　醫師藥劑師内科醫士數千名禁煙實驗證明書及推賞狀付而御申込　ニセ物あり偽念見本液進呈　十錢◎風味液特製七十錢九十錢パイプ四[illegible]ツク用錢◎送料内地八錢海外十錢

東京神田猿樂町三ノ二　振替東京一一一七四番　（特約店募集）

天下一品　白鶴　增本酒店　仁川本町三丁目　電話一〇九番

花柳病專門　外科　梅毒・麻病・淋病・泌尿生殖器病・睾丸病・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー　京城南大門通農工銀行裏　606　司生堂醫院　電話三〇六五番

流經新藥レスリン　月經　閉止四五ヶ月以内に確實の流經を容易く作用を以ての目的一瓶應用　遂し其効果他藥に優越す　價一圓　送料十三錢　[illegible]　大阪北區曾根崎上一丁目三六地　常盤藥院

純良清酒　夏季の衛生には防腐劑入らず　金露一升瓶詰　清良酒天下一品　大塚合名會社京城支店　京城南大門通二丁目

移轉廣告

明治公債株式會社　大連市龍田町九號地　滿洲支店　營業部　支店長　岩田米吉　（電話長一七八九）

アスファルト　フエルト　一便利瓦（利製マルソイド　アルバロイド）　各種　各種　京城永樂町二丁目六〇　德田商會　電話二三五番

謹告　水害御見舞　謹告　近火御見舞　滿鐵鑛業部販賣課　龍山貯炭場　京城南大門通長電話七〇〇番　龍山漢江通電話一〇三番

朝鮮銀行　當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱中候　本店　京城　振替貯金口座京城三三三番　電話六一〇番　支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海　出張所　右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

胃腸病とタラコン　普通胃腸病の藥は唯だ一時の消化を助くるか然らずんば胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは胃腸の筋を引締めて其活動を旺盛にし胃液の分泌を十分にして吸收を好くし本質的に健全な身體となります　[illegible]　本舖　東京小石川下富坂町廿　無量壽藥園　電話小石川二九五六　振替東京一〇〇二一

京城西小門町二一番地　田中丸病院　院長　醫學士　田中丸治平　副院長　醫師　上野和夫　電話八八五番　【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

警務總監部認可　蚊取散　衛生無害　はい室の内外を問はず殺すは之より早き法なし　布せば直に死する事請合　あらゆる害虫にも有効保證　定價壹個金拾五錢　京城府黄金町三丁目一九一番地　朝鮮一手販賣店　久山本商會　電話五三四番　各地特約店御希望の向は御照會を乞ふ

かとりせんこ　定價壹箱二十個入金貳十五錢　一名蚊取炭火の代用として一時間以上を保ち高價なる香りは室内に充ちカトリ用として此れ以上なし

商況

東京期米特電
休會

兵庫期米特電
休會

大阪株式特電

種類	拂込額	十六日前場
宇治川水	五〇.〇〇	—
京阪電鐵	五〇.〇〇	…
東洋紡績	五〇.〇〇	二八〇.〇〇
合同紡績	五〇.〇〇	一七七.五〇
鐘淵紡績	五〇.〇〇	二九九.〇〇
同上新株	四〇.〇〇	二七〇.〇〇
東洋製糖	五〇.〇〇	…
大阪商船	五〇.〇〇	二二一.一〇
日本郵船	五〇.〇〇	三三二.五〇
同上新株	五〇.〇〇	…
堂島米穀	五〇.〇〇	一四五.一〇
東京株式	五〇.〇〇	—
大阪株式	五〇.〇〇	一六五.〇〇

大阪三品特電

十六日後場	
八月限	四〇四.九〇
九月限	…
十月限	…
十一月限	…
十二月限	…
一月限	三九四.一〇

大阪期米特電
久しく紛擾を極め來りし堂島米穀市場の解合問題も十六日を以て

棒値二十七圓にて愈々確實に解合の成立を見るに至れり

下關期米特電
停止

雜報

●三品一進一退
大阪三品十六日の市況は當限四百四圓九十錢先限三百九十四圓一十錢と爲れり前日來の當限も又々四百圓臺に附騰けしが此の邊は硬軟の腰入れ深く高値は軟派の防戰買處さへあり押目は硬派の買向ふ處となり市況は依然一進一退を繰返しつゝ綿布は三品は十三圓二十錢にて持合ひなり

●白絞油暴騰
外れの持品處分と小口滌氣投げ等にて一時石八十二圓迄反落せし白絞油も製産品の一段落と輸出の好望に向ひし爲め昨今再び奔騰氣勢を示し最近の入報は約十圓高の九十二圓五十錢を報じ前高値を抜くに至れり

●米油値下げ
は既報の如く朝鮮國航中の同油は積載船遭難の結果內地荷廻り不足を告ぐるに至り同油に販賣組合に於て市中建値を三十錢方引上げしが昨今漸く之が配給順に復せし爲め組合にて前記値上げ丈を引下げ舊値に復するに至れり

●糯却つて引締
米價反落の時に際し糯は獨り反對に强氣配を示し今朝は石拔き四十二圓方上伸したるが原因は邦人筋の需要が旺盛なるが爲めなり

●碎米下押す
は上品邦々需入あるも極物は瓜出盛り期にて鮮人筋の需要なし相場は特等二十九圓五十錢一等二十九圓二等二十二圓にて一圓七八十錢より二圓方下落せり三等品は相變らず十八圓に居据りなり

●鮮白更に低落
鮮白は高値より約六圓方暴落したる後此一兩日は上三十五圓中三十四圓下三十三圓を持合ひの姿なるが更に一圓安となり見當の下三十二圓門市場は今朝

●散
糯なるか各精米所は腰實米の持物を引受け居れる爲め大多忙を來し居れり

●雜穀類次第安
雜穀類は米高に伴ふ思惑其他の買物に各種一齊昂騰氣勢を示したるが正米市況の一大頓挫と同時に本品類も又急轉して糧米次第に安模樣を呈し來れり昨今の見當は大麥慶尙道物十一圓五十錢忠淸物十圓平安物八圓五十錢小麥黃海物十九圓十五錢忠淸物十八圓七十錢秦二十二圓三十錢下十一圓五十錢綠豆上十五圓十二圓五十錢唐に十一圓五十錢見當にて何れも一圓內外より二圓方下落せり殊に支那粟の如きは鮮人筋非常に安唱へなる爲め相場の見當立ち難し

●機械油見直す
マシン油一時下押し氣配なりし處內地の高騰を受け市況立直り模樣なり相場は赤マシンの十一圓五十錢唱へとなり

方に引戻し二二十錢
なるが本品は市中在荷潤澤の爲め素人不味の傾きあり相場は別品の七圓六 錢邊を持合ひなり

●味噌値上立消
昨今は原料たる大豆及び砂米の暴騰影響を受け仕込業者に於ては二十五貫入一樽に付一圓方を引上げ去十三日より之を實行する筈にて夫れ／＼關係業者に通知を發したるが共同一時之が見合する事となり今日に於ては從來の通り一樽九圓見當にて注文に應じ居れり

●地醬油好況
內地醬油は小豆島を初め播州地方共に約一割方の値下げを行ひ目下激烈なる競爭を惹起せる趨なるが京仁醬油は漸次品質の改良行はれつゝあると內地品の暴騰割高の爲め鮮內各地の需要漸増せしのみならず滿洲方面にも漸次販路を開拓せしより同業製造元の不足を告げ市中在荷潤澤ならず爲めに內地の低落相も一般反想せず相場持合ひの趨に好況を呈しつゝあり

●豆油昂騰す
豆油

●正米漸く落付
釜山正米は昨十六日強持合ひ或は二三十錢高の成行きなりしが本日は更に五六十錢乃至七八十錢高の入報あり當市場は過日來の處見送りありしが今朝は曇天ながら時況模樣なるも人氣漸く落付き來りし爲め賣控げの姿み現はし糯米筋も久しき買控へに多少買氣を催ふせるものゝ如く

●商內弗々行はれ中には二千叺とい纏り口の手合せさへありしが無見當の後丈けに

出來値は區々に浮動あり標準とすれば日本種玄米三十一圓三四十錢在來種三十圓六十錢次品二十九圓九十錢邊ならん各地市況より察する時は

此邊一服模樣なり
一般の人氣は社會の狀態を政府通過策の如何を見極め今後の方針を建てんとするものゝ如く何れにしても熱狂時代は既に過ぎたれば世上冷靜に復したる今日は米賣勢に伴ひ穩健の歩調を辿る事となるべし

●白米持合ひ
人氣は正米に後依然一般米の十八圓を持合ひて動かず市中需要者側の需復機先救濟廉賣米は引續き益々閑なり

下關相場
內地米無見當 其後出廻りを見ずして大體に於て賣り物多からず之れ鮮人手出しせずして相場も何分內地米の如き全く暗黑世界となりたると同時に今尙ほ安賣りの實行に當用口の如きも更に買人手出しせずして相變らずの不捗げに依り何れか値に捨てなるや全く無見當の狀態にあり

鮮米無見當 ●小豆は薄商內 鮮穀事情の下に共後別に賣り急ぎ物あらずして市況安しと云ふにあらざるも何分價の意外なる奔落を演じたる影響として只當買人の手控へに依り相變らず薄商內にて人氣面白からず之れが成行は別項の通りなる由の小口のみ

●大豆は相人なし 本品は其後出廻り途切れたるも何分米價の暴落と產地の續て安値を傳へ居るに連れ目先き安見越しを以て更に相人の現はれざる爲め其後見るべき商內行はれず無論値は那邊なるか其後見當相場さへ立ち難き有樣なり而て出來値は左の通りなるも眞の當用口への手合せのみ

▲龍山大豆(當用) 廿圓三五十錢
▲忠淸大豆(當用) 廿一圓三五十錢
▲水原大豆(當用) 廿一圓廿錢

▲肥料の現況 魚肥は可也の出廻りを見るに至りたるのみならず過日來米價の如き意外なる相場の奔落を促し今尙ほ形勢捉据として捕捉する處を知らざるの不況にあるより一先づ相場の落付きを見る迄は之の購買にて只當買人の手控へに依然賣れ行き捗々しからずして市況引立たず然れども一方手持筋に於ては遜色產地の安からぬ目下の相場は他品に比し高過ぎと云ふ程にあらずさ時節柄肥の需用なも控へ居る旁自然安くは手放し難たる風情ゆへ別段市況軟まず大豆粕は八圓二十錢に手合せ行はれ其他邦々の出廻値は別項の通りにて入著したるは朝鮮干が百八十五本品胴鰊二百八十六本大刀粕六百九十五本雜粕五百五本鰊粕二十五本鯖粕五本かツク粕七十本鮪干か二十本等なり

▲鰊は其後出廻り途切れたるのみならず產地の如きは依然手堅き情報にあると眼先きの需用を控へ居るより手持筋の氣配居る爲め相變らず氣强き市況にあり

各地商況
大邱米況(十六日) 各地逐日沈靜に歸すると共に邦米需給口よりの注文も入込み居れる模樣なるが當地在米の半數は積送約定物なる爲め安値は容易に手放さず當地鮮米筋にも日の付值は三十圓より尙四十錢高値の望みである値頃屈か又々無商內に終りたり

▲小麥保合 本日天候の爲め沈に廻著品なく十八圓見當の投げ物あれども買手氣乘らず是亦保合の儘無取組に終りたり

◎木浦(十五日)
▲玄米(益々低落) 本日は久々にて手合せあり三等玄無檢査品少荒ツヅコミ二百叺三十二圓にて出來昨日邊りに比し二三圓安なるから共餘は賣方は尙高値つかみ未だ相場區々にて暗黑なり
▲糯(低弱) 雨の爲め滯荷新規廻著なく倉入れ品は賣屋側九圓位を唱へ居れども買手は氣弱にて八圓三十錢を唱へて手合に至らざりき

釜山市場(十六日)
▲正米保合 內地阪神九州地方に於る米價は一時大下落の爲め賣物類は稀薄なりたれば一般に賣氣を生じ買進む相人も有之程にて市況何れも俤り閑散と云ふ如く當市場出廻品・依然少數にあるさは稀薄の狀態なりされば買望み現はれ一時に於て何分買人は出廻稀薄に依りて他方面へ向はる狀態の値米薄は殆ど絕へ午前中一千二三百俵の商內取引行はれたるが相場は保合の姿にして內地商况に際せる當地の目先きこの多少に關する事の觀あり白米も變らざ

南大門廻穀
▲昨今兩日分
郭山白米一〇叺平澤白米六五叺 西井里白九一叺平壤小麥七八叺 南浦大豆二〇三叺金村白米一九叺 鳥致院胡麻四〇叺鳥致院胡麻六四叺 天安小麥六六叺鳥致院白米三〇叺 水原米 四〇叭福溪小豆二三叭 鳥川白米四〇叭平康白米一六叺 鳥山大麥四〇叺水原白米四一叺 清州大豆二九叭平澤白米七八叺 大安白米一〇九叭興水粳五三叺 安東小豆二九叭印峴小豆二七叺

▲玄米 上物三十一圓並物廿八圓五十錢
▲白米 三十三圓五十錢
▲中白米 二十九圓
▲大豆 上物十七圓並物十五圓二十錢
るが如し出來值左の如し

仁川正米
▲糯の入津前日來の降雨にて在荷は依然三十圓內外を唱へ居れりとの事
▲正米は昨日も降雨にて商談行はれざりしも氣配は別段變らざるもの如く

生魚市場
◎京城日の丸市場 仁川元山釜山より入荷あり稍々目立ちし物は鯛鰆等にて鯛の如きは少數仁川より廻著ありしのみなり昨荷薄の後とて氣配一般に强し
▲釜山水產市場(十六日) 鯛(一千百七十五圓六十七錢九十五錢)たい十七圓ひらめ七圓五十錢はら十五圓めばり八圓ぐち五圓ずゝき十四圓ぶり十二圓は二圓めじ八圓たち二圓雜七圓
たい七〇さわら二三めぢろ二〇すゝき二四かつた三〇はも一八さば二二めばる一六に一〇こきこし二〇あわび五〇

仁川期米

▲十七日前場
(新規賣買停止)
第一節 中先共に出來不申
第二節 中先共に出來不申
第三節 中先共に出來不申
第四節 中二十八圓三十二錢
第五節 中二十三百石先限二十六圓六十錢にて
合計賣買二千三百石へ全賣買五十石の解商內行はれ散

▲解合行悩み
九日午場新規賣買停止後合意解合するもの多く昨日の處入にて
中限七千九百石
先限一萬五千〇
五十石と迄減少し
直面の喰合せ玉も大に減少し最早殘すも處催少なりたりとの說あり仲買人組合は殘れる建玉に對

▲仲買店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長九〇五番 四四番八三番

●總解合の形式に依り解合せする事となりしが共後も日々減少しつゝあり然るに建玉に對し總解合を爲さんとの議起り總會に諮りたるも合意解合の形式に依り解合を見一致せず

再び總解合談起りたるも依然意見一致せず共間に感情の行違ひもある振り合にて

行惱み
つゝありとの噂な紛擾を醸し居るの場合取引所一間米の問題に未だ解決せざる者ある者ならんも何等かの事情の伏在せるを察す時節柄遺憾の解決

市場雜觀
▲昨後場は中千百石先六千九百石の解合商內附け出し行はれたり大阪兵庫の九月限二十七圓にて總解合

▲解合成立
したる旨報ありたり天候は依然降り降らずみにて今朝に至り漸く回復したり今前場も少數の解商內附出し行はれて散會したり▲期米界として一向標準さすべき者なく正米界は內地各地に於けても救濟にて廉賣大流行となり盛んに之を實行しつゝある場合正米の標準も立ち難く朝鮮に於ても仁川を始め各地に救濟の廉賣行はれ居ると警務課の取締り法令出でたる爲潮く落付き模樣を呈しつゝある

▲仁川取引所の殘玉建米に對し一時總解合談起りたるも解合は一致せざる點ありたるより合意解合の形式に依る事となり共後も追々解商內行はれ取組高も益々減少しつゝあり又一部には此際總解合を適應し居る向もあり何れの形式に依るも解合は行はれるならんと觀測せられつゝあり▲此場合一日も早く取引なる解合を以て解決し後日內地各市場の立會開始を待つて再び立會を開始するに至るならん

大阪米報

▲著米激增す
地方米の出廻り漸く潤澤となりたる折柄鐵道の擾亂の爲め大阪驛の如きは連日五百噸內外到著せるし荷主及び運送店に於て引取らずる爲めに大阪驛構內の收容力は大阪廳に保護方交渉する處あり是今べく不便なからず西警務局より大阪府廳に保護方交渉する處ありたるも未だ回答を見ざる爲め西管にては當分の間大阪驛著米の積出は各驛にて引受けざることに十五日決定せるが神戶兵庫兩驛には日々四百噸內外の米が九州及び中國筋より著荷せるも右に對しては臨時御用の札を立て運搬しつゝあり

▲形勢逆轉す
堂島先限解合問題は双方の格值十錢の相違あるまでに接近して漸く紛擾府決の曙光を認められたる者が其後各地の米騷動に伴ふ期正米の激落がながめて形勢には遂に逆轉し賣方の態度硬化して共格價著るしく下値を呈したりかめに格值詮衡委員會は十四日に引續翌朝十時取引所樓上に會合して種々協議を重ねたるか買方は七圓二十錢の格當なるこを條件として解合調印承諾せしものなれば該值段を主張し賣方は各地の激落を根據に委員米價の如きは正值三圓五十錢が解合值段として適當なりと聲明せるやにて到底歩み寄る可き譯にあらず二川井堅正副兩委員は取引所重役と愼議し或は雙方に解合誠行志委員たりし芳賀山本兩仲買人に面會して賣方を間ふなど躍起となり居れる共賣方は目下の情勢を以てせば解合談の纏立頗る困難なるべしと想はしむるものあり

白米小賣値
一等白米 三十九錢
二等白米 三十八錢五厘

白米標準値
三十八圓

青物小賣值
ホウレンソウ 一五 ナガイモ 一〇〇
シシヤク 一五 サツマイモ 二〇〇
チサ 一五 トウガン 四〇
ナツパ 二五 ナンキン 三〇
ミツバ 一五 ニンジン 三〇
カイワリ 三〇 ゴボウ 三〇
トノイモ 一〇 ダイコン 五〇
ハスイモ 五〇 ナス 二五
コイモ 二〇 キウリ 一五
サヽギ 二五 チサ 二五
フジマメ 六〇 タマチギ 四五
インゲマメ 五〇 ベレイ 二五
ユヲ子 三五 トマト 三〇
ショウガ 二〇 タマナ 三〇
ツケキ 一五 エダマメ 三〇
シンショウガ 五〇 シロウリ 三〇
ハナマツ 一五 シロウリ 一〇

塚原卜傳
第百六十九席 悟道軒圓玉口演

…諸將勝鯨波を作つて京師へ引上げ信長公へ落城の趣きを申上げる、信長公感悦あつて功を賞し給ふ。中にも兵庫は細川の家來で功名帳に載つて居るが賞は小太郎この事をお聞になつて『信例に變らぬ塚原の武勇、賞する言葉もなし』と大に御感賞なされました、怨敵三好の三黨中を切つたるは大功でありますから將軍家にも其喜びは一方ならず厚く勝義を賞せらる、之れに恐れて三好一類影を潛め、松永彈正は懲りて信長公へ降參して麾下へ參るやうになり、京畿は泰平となりましたから四民鼓腹して喜び謳ふ、之れも一つは勝義の手柄でありますが其年の七月小太郎御暇を賜はつて在所常陸笠間へ立歸りました佐竹右京大夫義宣公勝義の功名を聞かれて之れも厚く御賞美になりましたが分けて上泉伊勢守殿初め同門の人々も勝義の出世を祝しまして大層な祝物を贈る、上泉伊勢守殿の仰に『伊小太郎未だ無妻である、から妻を一人定めねばならん、同門の人々之れと思ふ婦人あらば世話をいたすやう拙者が媒酌いたすから』といはれ、時に柳生神後日疋田を初めとして一同、口を揃へて『一同それこそ尋ねるまでもなく當時笠間の城內に在る下國佐太夫の娘照代、孝心類なく亦武藝も能くいたす氣性雄々しき婦人容色は古への小町衣通りにも劣るまじく、彼の娘ならば小太郎殿の配偶として恥かしからずと存じまする』といふ、伊勢守喜んで『然らば小太郎に申せ』と茲で一同打揃つて笠間へ參りまして勝義に此事を申入れると勝義も一應辭へし居たが外ならぬ恩師の仰同門の勸め遂に承諾いたしました、佐太夫照代は固く辭退いたしまするが一同强て勸め、黃道吉日を選んで勝義照代婚姻の式を擧げまする、石尾老を初め佐太夫の喜びは言はん方なく、城中城下萬歲を祝ふ、夫婦仲睦まじく間もなく照代一人の男子を生みました、講釋は早いもので已ウ十月經つて了つた積り早く月日が經つのでは利足ばかり喰つて仕方がない、それは質屋の話し……玉の如き一男子、名前を長丸と名付けました、一年經つて又一人の男子が生れた、能く出來るが其頃は物價が安かつたから差支ない尤も塚原は三萬石の大名だから安心だけれども之れを小才次と名付けましたのは先年約束した江戶の島村小才次の名跡を立てるため、之れは島村方へ遣はしました、兩人とも健かに成長いたしまして、父の敎へに依つて劍術は無双に出來る、中にも次男の小才治は後年に至つて大した技倆となりました、太閤秀吉に仕へて劍法を指南いたしました、島村の姓は後に他人に讓り本姓の塚原に復して德川氏天下一統の後之れに仕へ旗本に家名を遺し諸人其敎へを受けたといふ、それはさておき小太郎は其後卜傳と號し、遂に鳳陰流より一派を立て卜傳流といふ流名を遺しました以來卜傳として中上げますが、佐竹の家政を執つて上下に信用厚く其名は日本國中に傳はつて集まる門下雲の如く、早や五六年の春秋を夢の如くに送りました、然るに世の中は面白からず信長一旦の忠に誇つて專橫を極め、遂に將軍義昭公を逐ひ斥け、己れ代つて天下の將軍となり四海を征伐せんとする、上杉謙信勇歩なりといへども何分地理の關係に都へ旗を樹て難く、其中信長の奸計に依つて相果て、今は信長の獨り天下となつて戰を向ける者もなき有樣小太郎信々世の變遷を歎いて面白からず碎して居りましたが茲に圖らず一人の道士に勸められ飛驒國乘鞍ヶ嶽の山中へ隱遁する一條より、白猿の奇瑞、雪中の鍋蓋試合、龜井新十郎と再度の勝負など趣味津々たるお物語りに引移ります。

九星運氣考(九月)

雜記抄
(衷稲熟)一二四二一六四(秋頒)九一七四四四
八月十九日九星 舊七月十三日 戊戌 本命五黃八方塞先勝

▲八白 平穩でありますが此の月は萬事自身で左右に拘はらず人を使りにせずに…
◇九紫 幸の多く來る月ですから此の期を外づさぬ様充分に活動する事が肝要です何は此の月は貴人の救けを得て思はぬ多くの利を得る事があります
分に腕を揮つて活動する事が肝要です血族や目下の者から思はぬ損害を蒙むる事がありますから注意なさい

▲五黃 殺なく三にする事有日新事見合南方は吉婚禮なし▲六白 取持多き日家に居て旅行見合すべし▲七赤 粤滿の日轉居旅行入學名望受任求職出逃念出▲八白 立られ迷惑の事有り上新事手に付く▲九紫 家事は吉保證▲一白 氣ぬけのする事有日新事手控え事は吉婚禮縁談結ぶに▲二黑 爭有る日也 厄介至極の事有日新事手控ゑて宜し▲三碧 事にも吉 口入等せぬがよし▲四綠 自他の事に付て勸めある人にも吉

▲廣 告▼

◎晉州と煙草稅
賣稅改正に伴なふ晉州郡內賣持越所及び稅額左の如し

◎優良種付牛
慶尙北道善山郡畜產同業組合に於ては過般一歳牛五十頭以上の牝牛に種付を爲したる同郡縣西面九山洞居住萬斗外十名所有の優良種牡牛に對し表彰狀に五十錢乃至一圓五十錢額八圓の賞金を添へ交付したる由なるが本專は將來種付奬勵上頗る効果ある見込なりと

牛乳 衛生 御用 朝鮮 純粹 成分 ミルク
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

吹きパイン萬年筆
商品を聽するにこの邊まで誇張を要すかパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆として備ふべ一切の効能と特徵とを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし
萬年筆使用の快味を知らむとせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし
最新綠山式 六圓八十錢
銀行實務 四圓九十錢
實業 三圓八十錢
學生 二圓八十錢
ビジネス事務用ペン 一圓九十五錢
發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

千葉縣野田町 野田醬油株式會社
最上醬油
キツコウマン

皮膚病とデルマチカ
學理の根抵に實驗の威力ある名藥
數年間の痼疾を一掃にて全癒せしむ
濕疹 いんきん
田虫 毒蟲螫傷
火傷 がんがさ
凍傷 擦過傷
切傷 なまづ
白癬 水むし
在來の皮膚藥は患部に塗ると刺戟を起す割合に効能あるもの尠なかつたがデルマチカは泌みず痛まず上記の諸病を速治する。本劑創始者たる加藤愛生堂院長が過去數年間幾萬とも知れぬ患者に試み眞に百發百中の實驗を積んだ中に恐るべき丹毒を速治した多くの例は他に比類ない効能である。
藥價 一壜 廿五錢 內地送料(三個まで)金八錢
全國到所の藥店にありーなければ本社へ申込まれよ
東京市本郷區東竹町廿七
發賣元 富士新藥株式會社 振替東京一七一六四番

國論は一致す
威力ある〇〇〇携帶行糧は
先づ〇〇〇〇〇第一〇〇に
森永ミルクキャラメル
森永製菓株式會社
7—25

大阪商船汽船出帆
	月	日	正午出
神戶、大阪行(仁川出帆) △日淸丸	八月廿一日		後五時出
群山、大阪行 ×安東丸			
濟津行(元山出帆) ●安平丸	八月二十日		後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 ●宮島丸	八月十四日		後九時出
上海、芝罘、打拘行(大連出帆) ●湖北丸	八月十二日		前六時出
●基隆丸	八月廿七日		後六時出

內地各港出帆主要航路
歐洲行一年四回 北米行每月一回
南米洲行一年四回 孟買行每月二回
濠洲行每月一回 南洋行每月一回
御注意 切符御購入の際は旅客及貨物の取扱所より朝鮮各地仁川支店 京城 大阪商船株式會社 電話七〇八番

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津、牛莊行 相模丸 九月 七日正午出帆
酒田丸 八月廿八日正午出帆
×高砂丸
仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀 回漕部

尼崎汽船出帆
群山、木浦、釜山、下關、大阪行
第一大湖丸 八月十四日後四時出
第二大湖丸 八月二十日後四時出
君が代丸 八月廿三日後四時出
大有丸 八月廿六日後四時出
秀吉丸 八月十九日後四時出
仁川海岸通三丁目(電話五九番) 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆廣告
天候船繰の都合に依り變更することあり詳細は本社又は各地支店出張所代理店に就て御問合せ下さい

平壤丸 八月十五日 元山發
鎮南浦行 八月十八日 清津經由
雄基丸 八月廿三日 釜山發
越後丸 八月廿六日 元山發
成鏡丸 九月一日 元山發
雄基行(關門發釜山各港經由)×印江原道各港セズ
越後丸 九月一日 釜山發
雄基丸 八月廿八日 元山發
大阪行(神戶經由) 八月廿三日 釜山發
元山雄基線(元山城津經由) 穩城丸 八月十四日 元山發
金剛山遊覽便(元山發右長箭經由) 長箭行每月六回但自六月至十月五ケ月間 穩城丸 八月十八日 元山發
釜山浦項線(釜山發 方魚津 長生浦經由) 江陵丸 每日 釜山浦港發
濟州島行(釜山發長承浦三千浦麗水巨文島經由) 呂川丸 八月十五日 釜山發
濟州島行(東廻西廻 釜山發) 東廻 公州丸 八月十九日 木浦發
西廻 公州丸 八月廿三日 木浦發
木浦麗水線(木浦發麗水着 以下三日目每に木浦發) 順天丸 八月十九日 木浦發
釜山麗水線 海州丸 統營丸 每日 釜山發
多島海行(木浦發多島海各島行) 慶寶丸 八月廿二日 木浦發
木浦行(仁川發各地經由) 金海丸 八月廿三日 仁川發
海州行(仁川發江華島各港經由) 鎮江丸 每日一回 仁川海州發
鎮南浦行(仁川發各港經由) 晉州丸 八月十八日 仁川發
青島行(仁川發各港經由) 江原丸 八月廿五日頃 仁川發
朝鮮鐵道各驛其他外國各港連絡運送ノ便有

本社 京城南大門通 電話(二)二一九五三三
釜山 支店 釜山港佐藤町
元山 出張所 元山港海岸通
仁川 代理店 仁川港 堀回漕部
木浦 代理店 木浦港 野回漕部
京城旅客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 電話(一)一七〇番
其他各驛港地に荷客取扱店あり

第五版

此調するので中々困難ではあるが軍隊としては頗る完備であるこれで現今の交戰國獨墺同盟國は勿論英佛の聯合國と雖もその補充は一局と[illegible]規兵になか

いふもの全然[illegible]更に一年乃至二年騎兵科のものなであるから時らば騎兵學校步兵科の將校であれを急造して將校ば步兵學校砲兵科並に工兵科であ

▲教育を標準として將校を採用するものとせば一年志願者の如きは最も歡迎さるべきものであるに

[illegible]は參謀將校の不足を補へて居るこれなごは最も一單として重要視されて居るその

[illegible]ことは云ふもの、自然出來得るのであるがしかし參謀となるこ一軍の計畫者實業者の地位にあるもので

備としては可なり準備の整つて居るとは云ふもの、歐洲戰の教訓に鑑みれば以後大に其養成に努めね

京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢▲參ヶ月前金貳圓拾五錢▲六ヶ月同四圓貳拾錢▲壹ヶ年同八圓拾錢▲郵券代用二割增
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢▲同特別三號七字詰同一圓▲二號七字詰同二圓▲四號九字詰同二圓▲六號十七字詰同一圓
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用三六〇番 營業用三六九番 振替貯金口座京城三〇〇番

京城日報

內閣の趨舍如何

頃來坊間寺內內閣の辭意を傳ふるものあり、其說にいふ、米價の暴騰其因を爲し、各地に騷擾頻發したるは、現內閣の威信最早地に墜ちたるを證するものにして、政府が焦慮すれば焦思るほど、物情險惡に赴き、此まゝに推移せば、遂に國家社稷に不測の汚點を印するの虞あるを以て、寺內首相は、此の形勢を看取し深く其の責任を感ずる所あり、近く闕下に伏して骸骨を乞ふの決意を爲したりと。此說たる一應右理ならざるにあらざるも、熟々刻下の實情を按ずるに、吾人未だ遽に之を信ずる能はざるなり。成程險艱なる時局は、米價の狂騰に伴ひ、一層險艱に陷りたるは、掩ふべからざるの事實にして、其間に何等か政變を醞釀するの機會あるべきことは、萬人の看取する所なり。政府を非議するものは此の米價の狂騰を以て、現內閣の施措其の宜しきを得ざるに歸し、嗷々として之を非訟するも、此の如きは所謂陪吏の舞文羅織に類し、決して公正を得たるの評論とは爲すべからず。勿論暴利取締令の如き些末なる法令を以て、今日既に常軌を逸せる市場を矯正せんとするが如きは、徹底したる政策なりとはいふべからざるも、さりとて初めより穀類收用令や、公定價格標準を設くるが如きは、如何に冒險好きの政治家と雖も、之を實行するに躊躇する所なるべし。好し假に之を斷行するものありとするも、世論は決して之を悅ばざるのみならず、恐らくは暴利取締令以上の非難攻擊を招きたるならん。所詮今日の狀態は、如何なる內閣が之を統理し、如何なる人物が其局に當りたればとて、一令の下に滿足なる功果を舉ぐるを望むべからず、又萬人の賞贊を受けながら、其の施措を完うする如きことは、得て之を望むべからず。不幸にして此險艱なる時局に遭遇したる現內閣は、近頃氣の毒なる貧乏籤を引きたるものにして、就中仲小路農相の苦境に立てるは、同情すべきものなきにあらず。而も米價に對する世潮の險惡はます〳〵甚だしきを加へ來りたるが故に、政府は餘儀なくも爰に穀類收用令を發布し、始めて徹底的政策の一部を實行せんと期したるものなるが故に、此政策の效果未だ明かならざるに、遽々然として內閣を拋出するが如きは、徒らに責任を回避するものにして、卑怯なる所爲といはざるべからず。現內閣如何に微力なればとて、しかく無責任の行爲に出づべしとは、吾人の斷じて信じ得ざる所なり。加ふるに即今西伯利亞出兵の大事件を抱へ、世界列邦の環視を受くるの大の場合なれば、輕々しく政變を釀すが如きは、國家の不利此上なきに於いてをや。

思ふに米價狂騰より來れる騷擾は、場合が場合なるだけ、眞に千秋の恨事なりと雖も、而も之が鎭靜を策する決して難きにあらず。既に內國の在米缺乏せるにあらざるの實際を審にせる以上は、收用令及び管理令に依りて需給の圓滑を圖ると共に、秋霜烈日の威を以て奸商猾賈に臨まば、騷擾の原由こゝに滅し、人心安靜に歸すべきことは言を俟たず。唯其れ吾人の切に憂慮する所は、一部野心を抱くの徒が、人心の動搖を機とし、て、巧に政治問題と相抱合せしめ、因りて以て政海の波瀾を捲き起さんとするもの、隨處に出沒すること是なり。彼等は事態を解せず、國家の將來を念とせず、其の目的とする所は政權の爭奪にあらざれば、徒らに政變を釀すを以て自ら快とする一種の狂漢ならざるはなし。誠にいふ獅子身中の蟲とは此等の徒のみ。吾人は此輩の跋扈跳梁を惡む殊に甚だし。

然りと雖も吾人は飽までも現內閣の踏止まりを主張するものにあらず。若夫刻下の施設其功を奏し、民心既に安靜に歸し、且つ西伯利亞に於ける軍事行動の其緒に就きたるの曉にして、首相寺內伯を始めとして、閣僚一同骸骨を闕下に乞ひ以て後賢の途を開くの日あらば、聊か其の責任を完うしたるものとして、吾人も亦之を贊んせんと欲するなり。唯今日の如き渾沌未剖の場合に當り、漫りに責任を回避せんとするの行動を非とするのみ。思ふに現內閣諸公も亦吾人と其の歸趨を同じうするならん。暫く記して之を後日に徵す。

露國の戰時財政（九）

結論（二）

新政府が新税賦課に由り歳入の增收を圖りたるは漸く六月に入り初めて着手せるものにして即ち同月所得税の倍課所得税附加税の新設及び戰時利得税の增徵に關する三個の法律を發布せり以上三税は恐く所謂資產階級に賦課せられたるものにして年四十萬留以上の收入を有する者に對しては其の三割（最高率）から十二萬留の所得税を課し千留のものに對しては之を絶除し所得税附加税は年一萬留以上の收入あるものより之を徵收し等しく其の最高率を三割と定め而して戰時利得税は一九一六年に於て年六分以上の利益を收得したる企業家より徵收し其利益四割以上に達するものに對しては最高八割の高率を課せり是等諸税は資產階級の人士にとりても固より過重なる負擔には相違なきも國庫の窮乏を省みれば尚之を忍び得べく今や吾人は恣に戰爭を廢すべからず吾人は屈辱的平和を結ぶべからず吾人は今次の革命を無意味に終らしむべからざるを思ひ決して資金の獻納を厭惜すべからざるなり然れども吾人は革命の創立に對し無意義なる濫費を慫慂するものにあらず露國の如き諸事革新の際に當りては多額の資金を要することは言を俟たざる所なるを以て國民たるもの須らく努めて冗費を節約し貯蓄を勵行すると同時に政府も亦常に周到なる注意及び嚴密なる監督の下に支出を節約することが肝要なりとす

前記三税は國庫に對し年々十億留乃至十二億留の收入を與ふるに至るべく豫期せられ而して一九一八年度に於ける國庫の歳入豫算は七十八億留を計上し一九一七年度の豫算に比し三十八億留の增額なれども既に今年度に於ける通常豫算は幾十億留の戰費を別として十五億留以上の收入不足を豫期せられつゝある狀態なりと然れども郵便電信官營鐵道の收入不足は郵便電信料及び鐵道運賃の引上により之を補塡するの考へにて既に鐵道運賃は二十割の增徵を實行し普通支出及び戰費の不足は公債發行により之を調達することゝし公債の利子支拂は諸税の增徵及び新設に由りて之を支辨するの意嚮なりとされば大藏省に於ては前記三税實施の外財產税、價格增加税、相續税特に親屬に非ざる者に對する巨額の遺產贈與に對しては高率の課税を爲し專心諸税の增收を圖るの企畫なれども是等資產階級の負擔に屬する直接税の增課のみにては到底一九一八年度豫算に計上せる新規要求を支辨することは能はざるべく從つて既に貴税の引上を行ひたるも尚將來砂糖、茶、燐寸、巻莨、石油、其の他の間接税を高むるか或は消費者にとり都合よく又國庫にとりて收入多き是等物資の官營專賣を實施するやも測るべからず戰爭は國民に對し犧牲を要求しつゝあり國民たるもの須らく祖國の爲犧牲を提供せざるべからざるなり然し乍ら政府が如何に種々の税制を新設し國民が如何に多額の納税をなすとも決して此等諸税收入のみにては國家の財政を救濟すること困難なり即ち國民は國家に對し此等の犧牲を支拂ふと共に更に凡ての點に於て節約に努め極力貯蓄を計るの必要あり又政府も常に國費の濫費を戒しめ富國の策を樹て國家の安泰を計らざるべからず實に露國の存亡は懸りてこの節約貯蓄に存すと言ふも敢て過言にあらず露國を救濟するは革命政府の責務たるなり勤儉貯蓄は國家の財政を整理する上に於ても又一家の經濟を處理する上に於ても必要にして嚴重に之が勵行を期せざるべからず吾人は租税を確實に納付せんが爲慾望を節し濫費を愼み以て有用に其餘財を貯蓄せざるべからず革命政府は今や諸税の徵收、公債の募集及び經費の節減を實行するの外地方產業の恢復進展に努力しつゝありされば露國は遠からず戰爭終熄、革命騷亂の沈靜を待つて自由の國是を創立するに至らん然るときは吾人は無盡藏なる天賦の富源を開拓し各種產業の發達を圖り以て資金の充實に努め戰爭及び內亂の爲蒙りたる損害の恢復に努力せざるべからず而して之が爲には外國資金の流入に俟つの必要あるや又言を俟たずと雖之と同時に注意すべきは從來の如き狡猾なる獨逸の資金は絶對に排斥し一に之を好意ある協商諸國の投資に俟つべきの要あることゝ是なり露國の國富は無限なり露國の努力は絶大なり吾人は此の富と力とを總べし更に智識及び經驗を綜合し援つて以て戰爭及び革命に困りて破壞せられたる露國の財政及び經濟を恢復し之を健全なる露國となし一般露國民と其の幸福を共にするを希ふものなり而して革命政府の須臾も忘るべからざる一大責務と信ずる所亦茲に存するなり（完）

兒童學の進步（六）

於朝鮮教育研究會 高島平三郎氏講演

一體科學は如何にして成立つかと云ふに、第一に記述、第二に排列、第三に原理之が要素であつて最も貴ぶべきものは原理である。精神發達の狀態は丁度科學成立の狀態と同じである。科學即ちサイエンスと稱する學問の外に廣い意味に於けるバイオロジー……生物科學と云ふ學問が發達し來つたが、卵學と稱する生物の卵に就いて種々の研究を爲す學問もある。卵丈けを研究して立派な一つの科學が成立つ……偖て中學生位になると、教師も父兄も『何故』と云ふ事を說明してやらねばならぬ。小學生に對しては『何うなつてをる』と云ふ事を說明すれば足りる。尤も小學生でも上級になると『何故』と云ふ問を發する樣になるから、教師及び父兄は夫々適當なる說明を與ふるの要がある。心理學殊に兒童の精神發達の順序が明かになつて來て教育上種々の方法が案出せらるゝに至つた。是れ蓋し兒童學の發達に負ふ所大である。

輓近心理學の進步發達を促したのは一面生理學の發達に俟つものが多い。即ち心理學と生理學とは密接の關係を保つて居る。人の個性殊に氣質が種々に異なるのであるが、事は明かな點であるけれども其何故に異なるかの原因が能く判らなかつた。又人は生長する者であるが如何なる原因で生長するかは判らなかつたが、最近十年來『內分泌說』なるものが唱道されて、其原因がやつと說明して來た。之より『內分泌說』に就いて少しく述べて見る。一體人體には盲管と稱するものがあつて一種の液が此の盲管を通り其の淤れたものが人體中を巡る、其の最も著るしいのは咽喉のグリ〳〵即ち甲狀腺と云ふものである。此の咽喉のグリ〳〵は男子にも直判るが、女子には最も能く判る。そして此のグリ〳〵即ち甲狀腺は始終一種の液を分泌するものである事は夙に醫者の間には判つて居たのである。之は最も大切なものであつて、病氣に罹つて此の甲狀腺を切開手術すると手術後二三日にして死んで了ふ。

並行線

瀧閑村

（五十八）

宮太郎もおのぶも苟安の一日を過つて行つた。

おのぶは凊策の脅威の手の及ぶのを怖れ乍らも、それを宮太郎の前に自白する勇氣を缺いてゐた。第一日に打明け損ねると第二日には更に打明けられなくなる、行詰まるまで段々窄まつて行く路をトボ〳〵步むより外に方法が無かつた。或時は宮太郎の頼みにならぬのを思ひ、自棄半分に現狀を破壞しやうとも考へたが、それも徹底的では無い、併し炎暑と此恐怖とは著るしくおのぶの肉體をも脅かして、健康を損ぜしめた。そして際立つてヒステリックになつた。宮太郎はモウ疲れてしまつた、更に一新發して事業を計畫し成功の域に運ぼうとするよりも、家庭を和樂ならしめやうとするよりも先に手足を伸ばして長々と眠りたかつた。ゆつくりと休養したかつた。併し二人とも自分の思ふ方には進めなかつた。可厭々々乍ら引摺られるやうに生きてゐた。

宮太郎は九月に入つても猶殘る暑さに辟易して、すツかり食慾が無くなつてしまつた。膳に向つても義務だけに箸を執る樣に見えた。『モウ少し旨い物はないかなア。』と云ふ小言が顏に見れた。同じく懶いおのぶは、朝起て竈の下の火を吹くのが第一に億劫だつた、日が高くなつてから食器を洗つたり洗濯したりするのも可厭だつた。けれども擲つて置く譯には行かないので、だるい身を起しては家事に働いた、一日の仕事は大だけれども隨分重荷で、其上に色々な料理の苦心などはとても出來なかつた。

『私だつて、こんなに窶れてゐるんだもの、少しは察してくれさうなものだ、それに自分は働きもせずにゴロ〳〵してゐるから食慾も無いのを遠私の罪にしてしまふのは餘りだ』

とおのぶは恨んだ。こんな些事たる事にも二人は反目をするやうになつた。

『過般の製紙の計畫が工合よく行かなかつたのはお氣の毒ではあるが、それに頓挫して何にもせずに日を送つてゐるのは一體どう云ふつもりだらう。ただ自分の持つて來た金があるから、どうにか暮しては行けるやうなものゝ、若しそれが盡きてしまつたら、どうして生活して行く積りか知ら……』とおのぶは宮太郎の此態度が不安で堪まらなかつた。

結婚してから、宮太郎の妹も光一の妻も一度一寸顏を出したぎり少しも來訪しなかつた。

『あんな人達まで私を馬鹿にしてゐる、馬鹿にされるのは私の至らない爲ではあるが、それを何とも云つてくれ無い宮太郎も無情である。』

と恨みはそんな處へも飛んで行つた。

朝夕は著るしく涼しくなつて、朝顏の花は日に〳〵痩せて來た。花屋には藤袴や女郎花が見られる程秋は動いて來たが、二人は反目し乍ら同棲してゐた。

或日おのぶは遂に口を切つた。

『貴郎も是から先きの事を少し考へて下さいな、モウ幾らも無いのだし、家に在るお金だつて、此頃は何だか大變弱くなつたのですから。』

すると宮太郎は物も言はずに俯向いてゐたが、プイと立つて家を出てしまつた。

おのぶは後に泣伏してしまつた泣いても〳〵涙が盡きなかつた、三四十分して玄關へ立つ時まだ歔欷してゐた。

商業登記公告

土佐紙株式會社ハ大正七年七月貳拾六日新株式第貳回拂込金壹株ニ付金貳拾五圓ノ拂込ヲ了シ新株壹株ノ拂込金額ヲ金參拾七圓五拾錢ト變更シタリ

申請錯誤ニ因リ東西貿易商會ノ登記事項中營業所ヲ京城府花洞百參拾八番地ト商號使用者ノ住所ヲ京城府旭町貳丁目拾五番地ト更正シタリ

朝鮮銀行理事大田三郎ハ大正七年八月拾日其住所ヲ大連市桂町[illegible]地區貳拾四號、貳拾五號地ニ移轉シタリ

右大正七年八月拾貳日登記

大塚合名會社ハ大正七年六月壹日支店ヲ東京市京橋區越前堀壹丁目四番地ニ設置シタリ

商號新設。商號文明雜貨商店、營業ノ種類雜貨販賣、營業所京城府鍾路貳丁目七番地、商號使用者ノ氏名住所京城府仁寺洞百拾七番地 文姫向

右大正七年八月拾參日登記

商號新設。商號「高麗號」營業ノ種類菓子製造販賣、營業所京城府漢江通拾五番地、商號使用者ノ住所京城府漢江通五拾四番地 山口正名

右大正七年八月拾四日登記

株式會社支店設置。商號東京製絨株式會社、本店京都市上京區今出川通知恩院西入西北小路町貳百四拾貳番地、支店京城府漢江通拾五番地、目的(一)蠶種苗ニ及生糸ノ生產並ニ其受託販賣(二)蠶絲業ニ關スル器械器具ノ製作及販賣(三)其他ノ附隨スル事業、[illegible]

[illegible]

右大正七年八月拾五日登記

京城地方法院

公告

給仕數名ヲ採用ス志願ノ者ハ至急當部警務課ニ出頭スヘシ

警務總監部

入札拂下

京城府崇二洞所在元四賢祠建物貳棟貳拾參坪參合六勺右賣却ス委細ハ八月十九日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ看ルヘシ

大正七年八月十九日

朝鮮總督府

最新刊

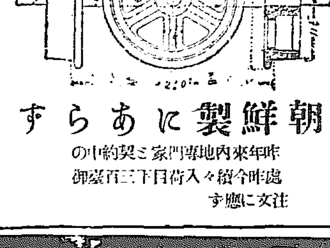
書名	著者名	定價
國歌大觀	松下大三郎・渡邊文雄共	一・五〇
建築構造學	內藤多仲	一・八〇
佛教の解說	常盤大定	一・〇〇
帝國の危機大戰來る	野中春洋	・六〇
わかくさ少女文集	研究社	・六〇
支那の眞相	大河原隆光	一・二〇
▲朝鮮語の先生	高橋山住在朝教諭著	定價壹圓貳拾錢
ゲーリー式の學校	田中光吉	・七五
新らしき村の生活	武者小路	・八五
米國大學と日本學生	加藤照治	・六五
高杉晉作	羽賀國	一・四〇
彈機世機	高津柏樹	一・二〇
東海道中膝栗毛輪講 駿河の卷	三田村鳶魚	一・二〇
▲大正七年遞信地圖 折畳	遞信局編	一圓 軸製貳圓五拾錢
中學新書翰	今村勝一	・八五
書翰文規範及文例	坪內孝	・八五
自動主義 遊戲教授の革新	高島平三郎	・七〇

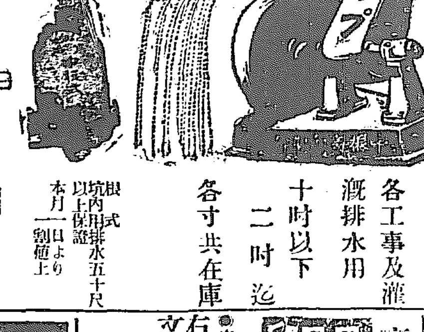
京城本町 大阪屋號 電話六八〇番 振替京城二五七二番

鑛山用虎印青紙八角鋼

チルドル製

土工用車輪





朝鮮製にあらず

昨年來內地專門家と契約中の處昨今續々入荷目下三百臺御注文に應す

各工事及灌漑排水用
十吋以下二吋迄
各寸共在庫

根式坑內用排水五十尺以上保證 本月一日より一割値上

東京鋼機株式會社 東亞製鋼株式會社 中根式鑛內用排揚喞筒製作發賣元 ○虎印八角鋼朝鮮發賣元

朝鮮總代理店

京城南大門外 電話一〇四番 二〇五番 中根商會

京城岡崎町 電話二五六番 中根工場

內職及副業號

主婦之友九月號

疲弊せし寒村を富有になした婦人の働（子爵夫人加納鎭子）
加納子爵夫人が實地視察されての事實談で時節柄何人も一讀すべき活教訓であります
◎奧様方へ勸めたき早起の勵行（因子擷揆）
◎丈夫に子供を育つる母の注意（大木遠吉）
◎大酒家の私が禁酒したる實驗（西村不問）
◎如何にせば內職に成功するか（吉井理三郎）
◎自分で糖尿病を根治した經驗（池田夫人）
◎廢物利用で出來た美しい絞染（石井一八）

成功したる副業と內職の實驗

如何なる內職と副業とが最も有利で如何せば內職や副業に成功するかを知らんと欲せば次の實驗者の記事を御覽ください

□一ヶ月百廿圓の利益ある我家のウヅラ
□人の氣づかぬ利益の多い豚の飼養
□月千五六百圓を稼ぐ我家のミシン內職
□片手間商賣で月五百圓を上ぐる造花販賣
□樂に年收三百圓儲けらるゝ養蜂の利益

軍艦河內が爆沈當時乘組中の夫の安否を案じ煩ひし妻の思出（一讀者）

死靈に祟られて危く一命を失はんとした怖ろしかりし事實談（みどり）

小學教師を勤めながら遺兒三人を高等教育を授けたる未亡人（かの子）

肺病全治の自療法（江間俊一）
肺病根治に特效ある江間式飯餘法を誰にもわかる樣に記しあれば肺患者は試られよ

一冊廿錢（送料一錢半）半年分一圓廿五錢
東京神田表神保町 振替東京三七八六 家政研究會

酸素透熱療器

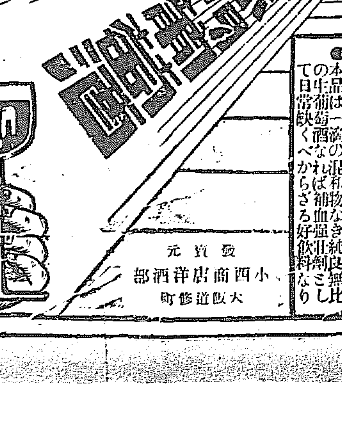
富士醫學士考案の本器（原名オキシデアテルミー）は血液の循環を良好にし生理機能を活躍せしめて自由に空氣中の酸素を人體に攝取せしめ自然療能を盛にして迅速に諸疾病を治癒せしむるに實に偉大の効力を有す然も其効力の永久不變にして使用法の簡便なるは家庭用并に醫家用として現代治療器の權威たらん

▼定價 家庭用金廿五圓 醫家用金卅二圓・說明書進呈▲

東京市神田區表神保町拾番地（一ッ橋大通り）

合資會社 オキシデアテルミー商會

電話本局長五一七八番・振替東京三九五七一



於福岡京都大阪各大學病院藥局醫藥用として連續御使用

●本品は一滴の混和物なき純良無比の生葡萄酒なれば補血强壯劑として日常缺くべからざる好飲料なり

發賣元 小西酒店 大阪道修町 洋酒部

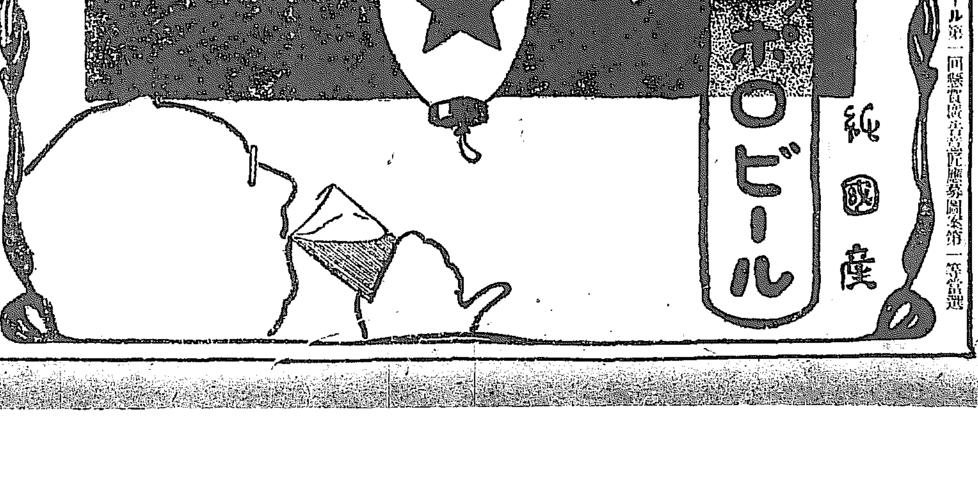
京識第一部地方係編纂

民籍 居住 印鑑 法令例規集 全

菊判洋裝 紙數約四百頁 ●定價金三十五錢 郵税無料 日鮮文

特價二十五錢 右一千部限り右特價販賣仕候間至急御注文あれ但し郵券代用は堅く御斷り申候

京城太平通 發行所 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番



京城櫻井町一丁目宣參參 品川尙平氏

◇サツポロビール第一回懸賞廣告圖案應募圖案第一等當選

◇米兵力充實案提出

米國兵力充實案は上院に提出せられたり　尚參謀長マーチ將軍は軍事委員會に於て今や米軍四百萬は西部戰場に於て聯合軍と共に奮戰したる旨を告げ且つ聲明して曰く米軍は其欲するに隨ひ獨軍の何れの線をも突破し得べしと（華盛頓電報）

◇獨軍戰線撤退

ヘーグ元帥公報に曰く、ピカデー河方面に於ける獨軍の俘虜は三萬三千四百四十四名を算し獨軍はフランダース方面に於てヴオーベルクイン附近九哩の戰線より撤退せり（合同通信香港電報）

◇莫市民饑餓に瀕す

チエック軍は今や莫斯科を威壓し食糧供給に一大打撃を加へ莫斯科市民は饑餓に瀕しつゝあり（倫敦電報）

◇ブ市民國境避難

ブラゴエチエンスクは過激派の横暴甚だしく市民の被害頗々たるより對岸支那國境に避難するもの多し（哈爾賓電報）

◇吉林省長歸任

郭吉林省長は十六日午後哈爾賓より吉林に歸任せり（長春特電）

◇瓜哇糖價格公定

瓜哇糖價格公定の旨十六日入電ありし爲に砂糖相場騰貴するならんと傳へらる（大阪特電）

◇堂島解合成立

大阪堂島市場にては十六日棒値二十七圓にて解合成立せり久しく紛擾を重ねし問題も之にて愈々解決せり（大阪特電）

◇近畿記者大會

言論擁護、內閣彈劾の爲め十七日近畿新聞記者大會開催さる可し（十六日午後七時發大阪特電延着）

○鮮鐵荷動狀況　稍減退す

南滿洲鐵道京城管理局調査七月中に於ける荷動き狀況を見るに發送噸數十七萬二千四百二十二噸、收入五十五萬三千九百四十五圓にして之を前年同月に比較するに數量に於て一萬二千九百六十九噸（八步一厘）收入十七萬三千九百十一圓（四割五分八厘）を增加せるが今其出荷の主なる者を擧ぐれば左の如し

品名	噸數
石炭	三一、四七六
米	二一、七〇七
木材	一七、一六九
鐵鑛石	六、五七八
大豆	六、五六二
雜穀	六、二四〇
豆粕	五、三〇〇
煉瓦	三、九八五
鹽魚	三、〇八四
石材	三、二六
セメント	二、〇四五
肥料	一、九六四
繩叺	一、四七七
鹽	一、四五四
生牛（三、五五二頭）	一、三七六
黑鉛	一、一六一
薪	一、一二八
金物類	九三五
明太魚	九一六
木炭	八八一
骸	八五八
石油	六六〇

次に前年同期に比し增減の著るしきものを擧ぐれば左の如し

品目	增減噸數
米	七、四四一
豆粕	二、七九三
雜穀	△二、五一七
石材	二、三五三
木材	△二、二五九
鐵鑛石	二、一〇八
生牛（一、一二八頭）	五六四
繩叺	五五一
鹽	五二〇

△印は減を示す

▲石炭　其の出荷狀況を見るに前月に比し稍減退したるも前年同期に比すれば前記の如く五千七百九十四噸の激增にして一般工業界の殷賑に伴ふ需要增加及び平壤無煙炭の輸送順調なりしに因るものなり即ち安東縣發に於て約三千噸平壤發二千噸を增加し依然主要貨物中第一位にあり龍山、南大門、成歡、金浦、孟中里等を主なるものとす

▲米　本月に入り度々外米の移入ありて內地市場に於ける相場は稍行惱みの氣配なりしも鮮內に於ては內地商人の大口買付盛にて爲めに價格益々騰貴し出荷旺盛を極めたり慶山、大邱、倭館、裡里、松汀里、平澤、平壤、新義州等は發驛の主なるものにして釜山の七千五百八十五噸群山の一千八百五十噸仁川の一千五百八十八噸南大門の一千二百三十五噸は著驛の主なるものとす連帶扱としては前月に大差なく三千七百九十五噸を算し內地行大部分を占む

▲木材　前月に引續き出荷好況にして數量一萬七千餘噸に達せり然して之を前年同月に比すれば二千二百五十九噸の減少にして之は前年軍用材の輸送殷盛を極めたるに本年は之が輸送減退したるためなり新義州及び安東縣最も多く九千十三噸依然第一位にあり新安州發平壤線枕木材其の他併店龍山帝發相應あり一般に於て多大の增加を示せり

▲鐵鑛石　兼二浦三菱製鐵所事業開始以來頓に本品の荷動き良好となり本月中に達せる輸送數量は六千五百七十八噸に達せり前月出荷旺盛を極めたる仁川發兼二浦及び殷栗行鐵鑛石は本月に入りて好況を持續し一千九百三十五噸を算せり新安州發价川鐵鑛石は本溪湖行五百六十一噸にして稍々減少したるも草梁經由輸內行に於て增加を示し一千六百噸に達せり而南浦著金鑛石は前月と大差なく一千三百三十四噸を輸送せり

▲大豆　內地側よりの買出排々あるも相場は依然として保合の狀態にあり尙は產地品薄となり捗々しき出荷を見ず發驛としては鎭南浦、新義州、安東、西氷川等にして內地直通扱多く釜山打切又尠からず

▲豆粕　內地に於ける秋作植付前施肥既に一段落を告げたりと雖も各冬來の輸送力不足は未だ既約品の停滯ありて相當の出荷あり全部安東發にして內地行とす

▲雜穀　客冬來米價の暴騰に連れ之の代用食料としての需要多く月々多量の輸送をなしたる本品は次第に產地品薄となり出荷捗々しからず而して前年同月に比し二千五百餘噸の激減を示せるは前年同期は麥粉の相場昂騰し爲めに內地製粉界の請記により小麥の移出旺盛を極め尙は滿洲粟の輸入多量ありしに因るものなり

▲鹽干魚　漁季の經過に伴ひ漸次減少したり大部分元山及仁川發にして前年に比し三百七十二噸の減少を示せるは元山近海に於ける鰯の漁獲稍不振なりしを其の主なる原因とす

▲生牛　四月以來漸次減退せる生牛は鮮內農繁期の經過に連れ又々移出旺盛となり本月二千五百五十二頭の多數を算せり汗浦、新稔、鶴原、元山、議政府、水原、大田等發にして殆んど釜山經由內地へ仕向らる

要するに本月中の貨物運輸は夏季閑散期に入り尙ほ降雨多く爲めに出荷に多大の打撃を蒙り加ふるに海上は時々風波烈しく度々關釜連絡船も缺航するありて荷物に尠からず影響を受け內地行は頗る不振の狀態なりしも價格の昂騰に連れ米穀の荷動き著るしく增加し石炭又前月に引續き輸送繁劇を極め總數量に於て前年同期に比し一萬二千九百六十九噸收入に於て四割五分八厘を增加し豫定の成績を舉ぐるを得たり

○朝鮮在米調査（四）

及び新米出廻迄の過不足見込量

＝本社に對する各郡の回答＝

▲遂安郡（黃海）　在米四百石新米出廻り期迄剩餘四十五石

▲忠州郡（忠北）　在米九千百九十三石新米出廻り期迄剩餘八百六十石

▲丹陽郡（忠北）　在米百石新米出廻り期迄不足二百石

▲南海郡（慶南）　在米約六千石新米出廻り期迄其貯藏多量なるが故に不足なし

▲井邑郡（全北）　在米五百石新米出廻り期迄雜穀あるが故に不足なし

▲長城郡（全南）　在米四千八百八十八石剩餘四百九十九石

▲新興郡（咸南）　在米三百石新米出廻り期迄過不足なし

▲咸興郡（咸南）　在米約三千五百石新米出廻り期迄過不足なし

▲咸陽郡（慶南）　在米六千六百五十石新米出廻り期迄剩餘二千石目下商人により移出中の物約一千石

▲密陽郡（慶南）　在米七百石新米出廻り期迄現在數量を其儘使用すれば不足なきも四五百石は移出の見込なれば不足五百石なるも外米及び支那鮮米の輸入あれば多少は不足は補はるべし

▲東安郡（慶北）　在米一萬一千石麥及び粟其他雜穀十八萬七千石新米出廻り期迄剩餘約千石

▲釜山府（慶南）　在米約四萬石新米出廻り期迄剩餘二萬八千石

▲奉化郡（慶北）　在米六百石新米出廻り期迄剩餘百石

▲羅州郡（全南）　在米七千石新米出廻り期迄不足四百五十石

▲原州郡（江原）　在米三百石籾六百石郡外管理米三百石新米出廻り期迄は多少不足を生ぜんも甜瓜等の成熟期なるを以て辛うじて支ふるを得べし

▲伊川郡（江原）　在米一千二百石生產年額の六分八厘新米出廻り期迄剩餘二百石

▲淸道郡（慶北）　在米四千二百石新米出廻り期迄過不足なし

▲殷栗郡（黃海）　在米五百石新米出廻り期迄不足なし

▲鎭安郡（全北）　在米五千三百四石新米出廻期迄剩餘二百七十七石

▲金堤郡（全北）　在米籾五千三百五十七石新米出廻期迄不足四百石

▲保寧郡（忠南）　在米五千石新米出廻期迄剩餘千石

○朝鮮收用令不適用　必要の場合は制令を以て發布

今回勅令を以て發布されたる穀類收用令は朝鮮內に於ては適用を受く可きものに非ず若し該令の適用を必要と認む可き場合は別に制令として發布せざる可からざるも現在の狀態にては何等之が必要を認めず內地に於て該令の發布に依り米價を低落せしめ得たりとすれば朝鮮も亦之に伴れて低落す可きは言ふ迄もなく萬一朝鮮の米界が平調に歸せざる際は移出制限令を以てせば現今約三十萬石に近き輸出餘力を有する朝鮮の米價を調節するは決して難事に非ずされば朝鮮に於ては穀類收用令の適用必要なしと當局者は語れり

○天日製鹽民營許可　工業用漁業用が眼目

政府が天日製鹽の試驗鹽田を京畿道朱安に開設したるは明治四十年なるが其の▲成績の良好なるを認め爾來朝鮮全般の需要鹽は總て官營事業として之を製造供給するの方針を確立し同年以來鹽田築造に着手し漸次擴張して大正七年には現在鹽田一千三十町步を有し尚朱安に約百四十町步平安南道廣梁灣に接する德洞地方に約百十六町步を增築中なるが結局朝鮮に於ける需要鹽全部を製造供給する計畫を立てたるが歐洲戰亂勃發以來化學工業用鹽の不足を告げ又海外輸出の魚類鹽藏用鹽の必要起りたるも內地鹽は價格高に且つ往々魚類鹽藏等の用途に充つるに適せず爲めに工業家漁業家等は甚だしく朝鮮天日製鹽を熱望するに至れりされど朝鮮の官營天日製鹽は前記の如く朝鮮內の▲需要に充てんが爲め計畫せられ殊に未だ朝鮮內に普く供給するに足るの生產なく年々支那山東省關東州及び靑島等より輸入する天日鹽を以て補足しつゝある現狀なるを以て工業用、漁業用として多量の鹽を供給することを得ず茲に於て總督府は機宜の措置として製鹽を左の用途に供するものに對しては特に朝鮮に於て天日製鹽田の開設を許可するの方針を決定せり

一、左の化學的藥品製造用に供するもの鹽酸、炭酸曹達、重炭酸曹達、苛性曹達、硫酸曹達、クロール酸曹達、クロール次亞クロール酸曹達、クロールアンモニューム、クロール亞鉛昇汞、ニトロヘンツオール、ニトロトルオール、ニトロキシオール、ニトロフエメール、ニトラニリン、アニリン、スルフオン酸

一、人造色素製造用に供するもの

一、峽移出漁獲物鹽藏用に供する者

而して右天日製鹽田の築造を免許す可き地方は政府に於て將來鹽田を築造すべき豫定地方以外とし鹽田の築造變更廢止等に付ては總て政府の承認を受けしめ且右に擧けたる▲目的以外の用途には鹽を使用することを得ざらしめ其他政府の必要と認むる取締及び監督を受け企業せしむるものなりと

○米價調節策施行準備

總督府にては曩に發布せる輸出制限令の適用を受くべき地域たる安東縣、大連、長春其他の各商業會議所及び其他の公共機關に對し五月毎の米相場の變動を電照しつゝあるが這は朝鮮に於ける當局の米價調節策施行準備として其參考に資せんが爲めなりと

○黑鉛制限繼續

米國の黑鉛輸入制限は去る七月一日を以て期限滿了期となしゐたるため春來不振を喞ち居れる全鮮の黑鉛業者も同日以降その解禁を翹望し價格の昂騰を期待しゐたるも右制限は尙ほ當分延期の事となりし旨某所に通報あり黑鉛市價の昂騰は當分望み難かるべしと

○軍司令官巡視

宇都宮軍司令官は十九日步兵第四十旅團司令部步兵第七十九聯隊二十日京城衛戍病院陸軍倉庫巡視の豫定なりしも十九日は高島第十九師團長着任に付一日繰延廿日廿一日に變更せり

◇內地米騷動　十六日內務省發表

米騷動の各地方狀況十六日夜內務省よりの發表を摘記せんに

◆東京　東京市は十四日以來日比谷、上野、淺草、神田、本所、四谷等の各所に群集投石、窓硝子破壞等の暴行あり十五日夜迄に軍隊出動十六日夜群集各所に集まれるも暴行に至らず軍隊警戒嚴重の爲め比較的靜穩なりき

◆靜岡　十四日靜岡市にて遊廓を襲ひ百二十を破壞し米商を脅かし軍隊出動せり

◆濱松　濱松市にて放火ありたるも大事に至らず其他附近各町市に暴徒起り富豪を襲へり

◆愛知縣　愛知縣下にては名古屋市は十五日人心緩和、熱田岡崎其他郡部に騷擾あり

◆岐阜縣　岐阜縣にては郡部騷けり（東京特電）

◆京都　京都は十四日以來市部に小騷動ありたる外無事なり

◆大阪　大阪市內は十四日以來午後八時より外出を禁じ電車運轉中止し軍隊警備の爲め靜穩なり

◆兵庫縣　兵庫縣神戶は十四日夜約一千の集團の暴行ありたる外無事其他尼ケ崎、明石等にも騷擾あり十五日以來靜穩

◆岡山　岡山市にも兵士出動米商の破壞されたる者多數十五日夜も出兵を要求す

◆廣島縣　廣島縣廣島は無事福山府中等に放火、破壞等あり吳市は十四日夜街より隨處に暴徒起り大商店を襲ひ暴行掠奪あり尙和歌山、愛媛、香川、福島にても

○軍司令官訪府

宇都宮軍司令官は野津副官を隨へ所管事務に就き打合せを要する件あり十七日午前九時半長谷川總督を總督府に訪問會談の後直に辭去せり

○伊藤中將歸東

入京中の海軍技術本部長伊藤乙次郎中將並に造兵中監塚本直の兩氏は十七日午前南大門驛發列車にて歸東の途に就きたり

○鮮銀浦鹽派員

朝鮮銀行にては浦鹽出兵の擴大に伴ない東京調査支局詰司事堤辰三氏を更に浦鹽地方に派遣する事となりたり

○牧山氏評議員

既報京城救濟會役員評議員に牧山耕藏氏を脫漏せり

○鑛業登錄（自八月六日至同八日）

▲鑛業權設定

京畿道水原郡陰德面八灘面　メングステン鑛　三十三萬三千七百二十坪　命鉉乘

慶尙南道陜川郡栗谷面　金銀鑛　五十八萬九千二百二十三坪　鄭顯求、李定仁

平安北道碧潼郡北中面　金鑛　十四萬二千七百五坪　金岡義雄

咸鏡北道富寧郡靑岩面　鐵　九十五萬千九百一坪　中村太郎左衛門、大月哲兒

▲鑛業權移轉

慶尙北道永川郡小川面　赤松哲秀

同英陽郡日月面　同人

全羅北道金堤郡水流面全州郡南林面　崔東燮

咸鏡北道鏡城郡朱乙溫面　生氣嶺粘土石炭株式會社

▲鑛業權消滅

忠淸北道忠州郡忠州面　同　同

▲共同鑛業權者脫退

慶尙南道固城郡三山面上里面　江口與市在寬脫退

○松木聯隊長延期

龍山步兵第七十八聯隊長に轉任せし陸軍省軍務局高級課員松木直亮大佐は時局展開の結果俄に舊任地を去り難き事情あり着任は九月中旬頃なる可し

◎裁判所取扱事件數　六月中に於ける總督府裁判所及檢事局に於て取扱ひたる事件數は[illegible]

◎郵便所移轉　八月二十一日より京畿道利川郡[illegible]

◎原簿助手募集　遞信局修補管理所にては[illegible]

人事消息

▲赤木萬二郎氏（平壤中學校長）十七日夜入京朝鮮ホテルへ　▲菅井宗七氏　同上天眞樓へ　▲小田島武三郎氏　同上　▲小森泰人氏　同上　▲林茂樹一氏　同上

――鳥瞰雜俎――

ハーストと丈け云へば知らぬ人もあらうが例の米國の新聞王▲之が近頃何かに付て日米の親交にケチを付け排日を煽動して何時も日米國交の邪魔をするのが▲今度は愈々所謂黃色紙の本性を現はし親獨的言論を煽動し始めたので遂に米人の憤慨を買つて此派の新聞に對するボイコットの始まつたのは痛快だ▲或町では市民の騷ぎ中止ひをやめ或町では商店が同新聞の取扱を斷り又或所では同新聞を山と積重ねて置いて公衆の面前で燒き捨てた▲紐育に於けるグァノンは町役人が購讀禁止命令を出したがこれは營業妨害で裁判所から取り消された▲サンタアエと云ふ處では國防委員の依賴があつて賣捌店が取扱ひを中止した▲最近何故に斯ふボイコットが盛になつたかと云ふと其の原因は▲ハースト所有の紐育アメリカン紙が大統領の演說を揭げた時其中に『聯合國の勝利を祈禱せよ』と云ふ文句を除いた爲である▲併し之は唯近因と云ふのみで米國々民は以前からハースト系の新聞が米國の與國たる英國と日本に對し猜疑心を起さしめる如な記事を出すに對して憤慨して居たのであつた▲米國治安協會々長メンケン氏の言明書にはハースト系の新聞は獨逸が平和提議をする時はハースト系の新聞が必ず之に伴なうて平和運動を起すに違ひない▲之れは米國に取りては最大危險であると云つて居る▲又紐育アウトルック誌はハーストを論じて『佛國にカイヨーあり伊太利にギオリツチあるも吾人はハーストを以て其類なりと信ずる能はず』と云つたが▲何うしても驕る平家は久しからずだ流石の新聞王も形勢日々に非なれば大分屁古垂て居るのだらう

○生糸の逆輸送

輸出額一千萬圓は空前の好況を呈し各[illegible]の相場を見たる程なり從つて橫濱市場より內地に逆輸さるゝ生絲[illegible]逞し七箇月間に前年度の三萬千百[illegible]梱を超えたるより本年度の總計は[illegible]上に上るべく之が爲[illegible]り（釜山特電）

○淸津外米賣出

[illegible]て廉賣せんと目下其筋と協議中な[illegible]

十六日福岡縣鞍手郡勝山炭坑据付の機關爆發して死者三名をいだせ[illegible]

日曜集會

[illegible]より學ぶ教師午後八時より同[illegible]はそれなり」と題する說教あり

▲妙心寺別院（若草町）[illegible]十八日午前[illegible]の說教あり

課題募集規定

[illegible]

米穀調製用具

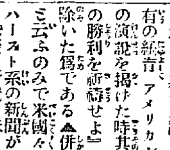
は京城の戶田春藏本店へ

▼收穫に必要なるすべての器具を整へ居候▲

▼品質を第一の標準として製作致し居り候▲

□本店―京城南大門通　□工場―京城北米倉町

各種　稻扱　唐箕　萬石　篩類



七日ツケタラ鏡ヲごらん色白くなるゲンソ液　小壜二十錢　德用四十錢

◎當工場は毎日午前六時より午後七時まで溶解を繼續し居るを以て如何に迅速を要するものと雖即時鑄工に取掛り製造御渡し可申候

◎當工場は一日平均三噸の溶解を爲すを以て多數御注文と雖短期間に製造御渡し可申候

◎當工場製造品は常に賞賛を得來り候に付御實檢の上御唱導希上候

海陸諸器械土木建築　鑄物一式並ニ洗鐵　格別廉價販賣

京城龍山京町十一番地　中桐鑄工所　電話長五二四番

新美術社主幹　小林蹴月著（鐵筆家八幡郊處君裝幀）

當世書畫大通　定價一部八十錢（郵稅共）　好評嘖々再版出來

書道轉ばぬ先の杖である、書畫熱最流行の今日何人も一讀せねばならぬ必書

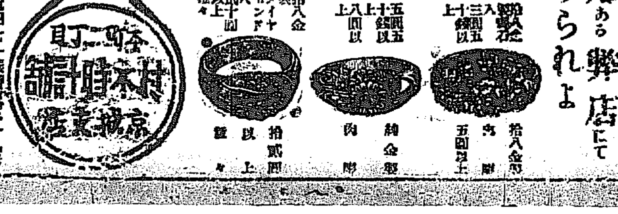
發行所　東京市麹町區下二番町三　新美術社

皆さん廉い米をお買ひなさい　何人でも（名前を云ふ必要は有ません）市內各交番にて

白米割引券　一升券一人五枚以下

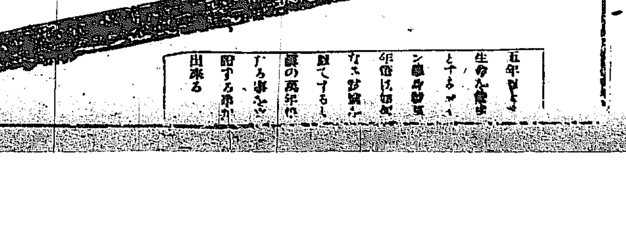
お貰ひになつて京城白米商組合店にお出でなされば一升に付時價より十錢割引致します

京城白米商組合



確實なる貴金屬は信用ある弊店にて求められよ

本町二丁目　村木時計店　京城



パイソン（學生號）萬年筆　金貳圓八拾錢　送料（內地十錢　外三十錢）

京城太平通電話構內十八番　發賣元　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

釜山白米廉賣

[illegible]輸出向は上一番六百圓買を高唱せるも地廻向は却って買進み遂に五十圓即ち七月末日迄に三萬三百俵（内[illegible]）[illegible]二月四千七百九十四俵半、六月六千九百五十三俵半、五月三千一百［illegible］

▲釜山精米組合一同は細民救濟の爲め五百石を提供し一升三十三錢にて賣出せり（釜山電話）

機關爆發す

▲日本美以京城教會（旭町二丁目）にては十八日午前十時より中村牧師の『時局』[illegible]午前八時半日曜學校、同十時、說教『救牧者』秋月致氏、午後八時傳道說教[illegible]の筈也（大連特電）

[illegible]十八日より各チーム[illegible]開始[illegible]（川村他人）

二十日　廿一日　廿二日[illegible]名は京城日報編輯局新者文藝欄[illegible]

□舊龍山元町附近の出水
＝◇十七日午後三時撮影◇＝

◇…舊龍山　元町三丁目迄電車が通ふばかり夫れから先は全部水の世界で四丁目では屋根瓦さへ見らない遊船倶樂部自慢の藤棚は全く水浸りとなり漸く二階から上が水面に現れてゐるばかりだ電氣會社の瓦斯タンク工場も全く孤立の姿で元町三丁目との間は船が往復してゐる沿岸は繋ぎ止めた木材で一杯其間を小舟が漕ぎ廻って洗はれながら殘って見ゐるばかりだが、幸ひに流失した家屋はない二村洞百餘戸の朝鮮人は悉く纏に浸水を免れた橋の袂の家に避難してゐた

◇…漂流物　を拾ひ蒐めるなど大騷ぎである、更に江岸の居並を見ると大抵は空家同然ガランとして避難中の内鮮人かその附近を辻路々々しながら飲料水や食を擔ぎ廻って居るのが如何にも々しかった（十七日正午）

救世軍

滿鮮本營活動

救世軍滿鮮本營にては西部戰線に於ける同軍の活動に倣ひ滿東に於ける戰線看護の爲め西伯利へ將校派遣し西部の老幼救護の爲め部隊を發して活動する事となり取敢ずヒル中校をハルビン方面にロード少校を浦鹽方面に派し偵察をなさしむべくこの程出發せしめたりと

取っときの種子米

＝を投げ出さうとする東拓＝

……精米所の好意で白米にして十八日から救濟會に提供……

東拓が現下の米價奔騰に際し細民救護の目的を以て籾五千石を提供して京城救濟會に託し廉賣をなさしむる計畫は既報の如くなるが、之について東拓

▽要路の人　は語る。「東拓はこれ迄も時宜に從ひ賣り出しをなし來り四五月迄に於て既に、小作米の殆ど全部を賣却し現に各地に貯藏せるものは凶歉準備用及び種用のみとなって居るのであるが、尚現下の狀況に鑑み、その中より京城に輸送し得べき全部を提供する事とし、水原、江景、金堤、榮山浦の

▽各出張所　に貯藏せる物は船便又は鐵道便によって輸送中である、處で救濟會の方でも問題となってゐる精搗であるが、之は南米倉町執行猪太郎、蓬萊町天日常太郎、南大門通今村伊三郎崎町待井三郎の諸氏の好意に依て精搗し得る事になってゐる、同四精米所は、既に陸軍納米その他契約米の精搗に

▽最早能力　に餘裕はないのであるが尚、無理な繰合せをなし他の註文を謝絕してまでも着手する事となり、費用の如きも單に實費の辨償を受くるのみで京城市民の爲めと云ふのは感謝に堪へぬ、本社の提供は十八日から始まりこの日は石數石拔き白米百五十石、石不拔白米二百五十石を十九日は石拔白米百石、石不拔白米二百石を提供する豫定である二十日以後は

▽大體二百　石内外を賣出す筈にはなってゐるが、十五日來の豪雨で漢江が增水した爲め原料の玄米及び籾の輸送見込立たないが、本社は茲に有らゆる努力をなして市民の便宜を計る心算である。尚賣出値段は大體時價より十錢安とする筈である。」

街の中を船が往來

豫想外の慘狀を呈した龍山

記者は十七日朝水害の跡を訪ねて新舊龍山を馳け廻った、新龍山漢江通りは濁水街上に溢れ屋内の疊や荷物が水浸りとなったので何所の家でも家財道具一切を外に持ち出し壁や溝の修繕から大掃除で目を廻してゐる人道橋は

◇…水見物　の群衆で一杯何れも恐い物見たさにおづ〳〵と欄干に摑まって四邊の光景を眺めてゐる、平日は水一つない漢江小橋下の砂原は京元線の堤防下に到る迄一面の泥海と化し橋臺に突き當った水は大渦を卷きつゝ滔々として奔流する有樣、漢江大橋の方は一層の激流で

◇…川中島　となってゐる二村洞の部落は何處へ行ったやら僅に屋根ばかりが點々姿を現はし畑の上を小舟が漕ぎ廻ってゐる、その外には架橋事務所であった平屋と鐵道の水源池工場とが土臺を

▼山室大佐來鮮　救世軍山室大佐は滿鮮視察の爲め二十二日東京發、廿四日（水曜日）釜山に著し同夜釜山分隊にて講演を試みたる後大連に直行歸途を再び朝鮮にこの卅一日夜入京九月三日退京の豫定なるが滯京中勞働者集會講演あるべしと

愛婦の同情

救濟會へ百圓寄贈

愛國婦人會朝鮮本部にては先以て京城救濟會の事業を贊成し金百圓

★李花の譽れ★（二）

▽陸大入學の御準備

★熱心に御讀書　＝御附武官金剛領謹話＝

李王世子殿下御精勵の事共

李王世子垠殿下、酷熱石を熔かす時、刻苦精勵軍務にいそしみ給ふ。則ち側近の士に就いて竊さに御近狀を承はる（東京支局）

李花の園生の奧に人となりせられた王世子殿下も陸軍步兵少尉の軍服を召されては炎夏の盛りに識な汗に砂塵を受けつゝ兵士と共に立ち働かれ正しい軍律には貴賤の差もなく殿下の熱心なる御勤務振りには一同只管感嘆の外はないのである。最近下志津の演習にも朝は七時より夕は六時頃迄專ら軍務に服せられてゐたが、時によっては東雲白む頃より初夜を過ぐる頃迄勞務に服され夜間の演習事其の多くは戰鬪射擊であった爲、御疲勞の程も如何がと案じてゐたが七日の午前四時愈々歸營の途に就いた時十二里の遠路を、御勸め申上ぐる馬にも召されず一隊と共に夕陽沒する頃無事御歸營遊ばされた。其の御武勇の程には一兵卒に至る迄御心服申し上げたのである。

一日の勤務を終へさせられて歸邸の後は陸軍大學校入學の準備に七時より九時迄二時間の間は每夜必ず戰術、語學、數學の御勉強あらせらるゝのである。語學は幼年學校時代より指導の任を拜せる陸軍士官學校英語教授の黑川氏に就かれ戰術は近く此六月頃迄第十九師團參謀たりし山崎少佐を聘せらるべく、今迄は參謀本部の加納中佐を召されて每週月曜金曜の兩日講義を聽かれたが今度浦鹽出兵に就て同中佐も彼の地へ從軍仰付けられた爲に山崎少佐が其後任となったのである。一年に三週間の休暇しかない軍隊では都合上その三週間を通じて休むといふ事も出來ないので先月習志野の演習を終へて後一週間を三島の御別邸にて御靜養遊ばされ、此度も十二日より三島にて一週間の御靜養を遊ばさる、のである。

しかし殿下には御別邸でも決して徒らに日を送られる事とてはないらしく常に御讀書に耽らせ給ひ、落陽を沒して涼風袂を拂ふ頃坐ろ湖畔の御逍遙も稀であって暇ある每には書を繙かせ給ふのである

赤十字社の活動

本部支部相呼應して出征勇士の家族と窮民を救療

……◇事情に依ては醫者看護婦も派遣する◇……

日本赤十字社朝鮮本部にては今回朝鮮に於ける出征軍人家族並に物價騰貴の爲生活上困難せる窮民中の患者救療上に關し差當り左の事項を實施する筈にて夫々各道支部長、府委員長宛本部總長より通牒する所ありたるが右は當人は勿論其の近親知己の者にして當該患者の中窮状にある者あるときは本部支部委員部又は警察官署宛申出づれば一定の診療券を交付し直ちに總督府醫院、濟惠病院及び府廳所在地委員部の指定に係る病院に於て投藥治療上の處置を爲す由

▽救療の方法

一出征軍人　軍屬の家族並物價騰貴の爲生活上困難なる窮民中疾患に罹り醫藥を自給する能はざる者は速に之が救療を引受け相當の投藥を爲す

二患者の事情に應じては醫員又は看護婦を派遣し療養上の注意を與ふ

三救療を要すべき者は診療券を交付し指定の病院に於て救療を爲す

四診療券は朝鮮本部之を發行し各支部委員部又は警察官署等へ前以て配布し診療券受領の患者に交付す

五患者診療に要せし藥價は本部に於て之を支辨す

龍山施米開始

＝十八日午前八時より＝

京城府龍山出張所に於ける京城救濟施米所にては十七日午前八時より憲兵分隊警察署の調査によりて附せる施米券持參者に對し一日大人米二合、小人米一合小人其の半額の割合を以て十日間分宛を支給する豫定なりしも同地方水害の爲め十七日一日は中止し十八日午前八時より施米執行の事となれりと

行方不明の齋藤氏

滿鐵沿線で入湯中との噂!!

辛辣なる米の買占を行ひ朝鮮より行方を晦ましたりと傳へらる齋藤久太郎氏は大連なる同人經營の油房及び同住宅にも不在なり多分沿線の溫泉に入湯中なる可しとの噂（大連特電）

□救濟會寄附　＝十七日午後分＝

金百圓　樋下田仙藏
金二百圓　安盛孫兵衛
金五十圓　白水たね
金五圓　玉屋唐奴
金二十圓　藤井慶太郎
金百圓　方奎煥
金百圓　閔橿
合計金五百七十五圓
累計金一萬一千三百九十五圓也

雨少尉重傷

飛行機墜落す

十七日午前八時半所澤飛行場にて第七聯隊雨將校中岡部安雨少尉第五十二號機に搭乗旋廻中三十米突の高處より墜落し兩將校は顏頭部に重傷を負ひ直ちに衛戍病院に收容目下治療中なり（所澤電報）

◆ドンなもの　かと聞いて見ると十五日は京飯、十六日は外米と云ふんださうで、此の粗食は當局の人も尋常だ。西洋食に比すること一寸一割強ですみ、七十錢に上がると話してゐる、唯久保局長は常にニコ〳〵してゐる人で少々不味くてもコレア結構…でシコタマ食べるので外の連中も不味いとも云へず、可なり喰へますね位で、お茶を濁してゐるらしい、その額り夕餐は自然ドコモ張るさうで夫人連は

◆反って不平　だとかそれは扨て措き京管局高級社員の粗食がいつまで續くか問題だと云ってゐる者もある

◆米廉賣と値段　既報の如く十八日より執行の京城救濟會の米廉賣は石拔上白米一升二十九錢石拔せざるもの二十五錢外米十六錢の割合なりと

◆春川交通杜絕　此程の豪雨にて春川驛踏間交通杜絕せり

●井上女子技藝學校長夫人　私立城女子技藝學校長井上要二氏夫人は予て擧く病氣療養中の處十五日午前六時を以て永眠せり葬儀は郷里に於て執行すべしと

漢江減水す

今回の豪雨にて漢江は龍山沿岸に於て二十尺を示したるも同九時廿分には三十一尺となり稍減水の兆を示せり

京管幹部の粗食研究

一食金八錢也
何時まで續く

かう物價殊に米の値段が上がって外はないと云ふので安藤運輸課長の如き驛長會議などに行くと長と名のつくものから外米も喰ひ粟も麥も喰って

◆改札や驛夫　や火夫なごに模範を示さなくちゃいけぬ、ナニ外米や麥ばかりは喰へぬと？それなら交ぜて喰ひなさいと手酷しく注ぎしてゐるが、京城管理局も一萬從業員の模範と云ふ所からしい、既報の如く粗食研究をやってゐる、頭の圓い久保局長を初め河江工務、安藤運輸などと云ふ各課長も一食八錢也の中食をとってゐる

大雨の後は惡い病氣

が流行する

▽…大掃除を怠るな

十三日以來の強雨にて各地に濁水汎濫し爲に家屋にして浸水を被りたるもの又は下水溝渠の壅塞汚水の滯留等の箇處も少からざる處例年雨後に於ては腸チフス等の病毒に罹患するもの多きにより其の流行を豫防するため警察當局にては左記要領を部内各警署に通牒したり

一浸水したる家屋は浸水の退きつゝある場合に浸水を清水にて充分洗滌すること

二床下の污泥は之を除き成るべく清潔にしたる後石灰を撒布すること

三浸水退きし後は窓戸を悉く開放して大氣及日光を通ぜしめ乾燥を圖る事

四日本式家屋にては床板を充分乾燥したる後疊を敷くこと

五浸水したる疊、建具等は清水を以て充分洗ひ汚物を去り日光に乾燥したる後使用すること

六家屋内の不潔なる場所は石灰乳又は消毒藥液を以て消毒すること

七污水の浸入せる井戸は充分浚渫の後使用すること

八潤濁せる井戸は濾過又は明礬沈澱法（水四斗に約八匁の細末結晶明礬を投じて靜置す）を行ひたる後使用すること

九飲料に供する水は成るべく煮沸の後使用せしむること

十下水溝渠は總て浚渫して污泥を去り污水の疏通を良くすること

十一家屋の周圍に沈滯せる污泥は悉く取除くこと

十二塵芥は乾燥の後成るべく燒却せしむること

◇各地の白米

＝十七日小賣値段電報＝

▲清州　一等白米一升三十三錢、三十錢に下落玄米一石二十七五圓に低落せり

▲兼二浦　特等米一升三十八錢

▲清津　一等白米一升四十錢

第貳拾四期貸借對照表

（借ノ部）

政府貸下金	一、〇〇〇、〇〇〇
資本金	二、二三〇、五四〇
諸積立金	三、三七〇、〇〇〇
未拂配當金	二五、六〇〇
假受金	五、五七〇、〇〇〇
本支店未達勘定	一、三二一、四〇九
未拂利息	四三、一〇六
前期繰越金及利益金	二三、五五五、九七七
當期利益金	六七、九六八
合計	二六、一六七、一九四

（資産ノ部）

諸貸付金及割引手形	四、六九九、六一八、二五
預ケ金	三六、三四二、六六八
有價證券	四九九、八五六、五八〇
他店へ貸	一、〇六七一
拂込未濟資本金	一五五、八五五、一一
設備金	二、七、二三〇、五〇〇
營業用地所建物什器	二、〇二九、三四〇、〇〇
抵當物流込物件	四、三〇九、四八四、七
金銀有高	三〇二、八四〇、四七
合計	六、一六七、一九四
借入金	一、三六一、一〇〇
他店ヨリ借	二三ケ所
諸預リ金	四、三〇〇、〇〇〇
支拂送金為替手形	一、七〇九、五〇〇
朝鮮銀行代理店勘定	九〇八

利益金勘定

金六萬七千九百貳拾九圓六拾六錢　當期利益金

此配當計算左ノ如シ

金武萬壹千四百圓　諸積立金

金壹千六百圓　重役賞與金

金武萬九千四百九圓七拾五錢　配當金（年九分政府所有株ヲ除ク）

金壹萬五千五百拾九圓九拾壹錢　後期繰越金

右ノ通リニ候也

大正七年七月

株式會社朝鮮商業銀行

取締役頭取　趙鎭泰

取締役銀行長　白完爀

取締役　金鎭燮

同　洪忠鉉

同　豊田明敬

支配人

監査役　張斗鉉

同　崔思永

前記各項ノ調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也

英國製二連
壹千挺新荷着
（定價表郵呈）
横濱市本町
合資會社金丸銃砲店
（店主四村潤藏）

謝近火御見舞
京城府漢江通十三番地
撫順炭特約販賣 寶榮商會
電話一〇七番
寶榮商會用達部
長電話五五三番

京畿道告示第九號
京城府新堂里所在京畿道高陽郡漢之面新堂里火葬場修繕ノ爲メ當分ノ間其ノ使用ヲ停止ス
大正七年八月十七日
朝鮮總督府京畿道長官 金谷充

謝近火御見舞
龍山漢江通第二區（京町）
田川商店
櫻井商店
名越榮之助
吉田米次郎

京日案内
普通一回前金七拾錢　番外一回前金一圓（但名一回分に付錢増し）
▲申込中後途掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

番外　店員至急入用但得意廻り
永登浦（電話一五番）村田雜貨店

内地入女子募集　廿五六歳迄
履歷書携帶應務掛ニテ承合スベシ
龍山總督府印刷所

金銀細工職人募集
望の方は御來談あれ京城黄金町二丁目電話一五番
一〇喜多金光堂

乳母入用　年齢二十以上三十歳まで本人來談ありたし
櫻井町一丁目電話九七〇
新田

給仕採用　年齢十五六歳高等小學卒業程度希望者は履歷書携帶本人來談市内に保證人を要す
京城第一銀行支店

社員募集　身元確實なる者三名採用志願者は午前來社又は履歷書送れ
京城本町四丁目百三十三番地人事興信社（長電話五七二番）

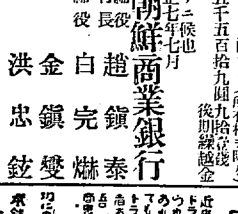
求職　内地人年齢五十五金庫番の中へ殺さしでも心配なき老人小使門衛倉庫番等に御周旋下さる方に薄謝を呈す（姓名在社）

女子原簿係採用す身元確實本人至急來談
平壤府南門町　丁字屋洋服店

職工數名募集　但し特種の優待法有り
平壤府南門町　丁字屋洋服店

ペイント、油類一切
コークス、セメント
耐火煉瓦、モルタル
スコップ、シャブル
帶革、ロープ
機械、工具
耐腐品其他
鐵鋼材
浪板、平板
針金、洋釘
新田帶革總代理店
（物價表御一報次第無代進呈）
京城　自神洋行

京城龍山等各地に僞物有御注意
りん病ばい毒　患者諸君
▽にせドラッグあり注意



近來東京其他各地に於てドラッグの名稱を附せる類似品あり丸富京城に於てトラッグ商會と稱するもの外に一も無之候
號商號に御注意
奸商なり
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會　滿鮮總部
大阪　ドラッグ商會
京城黄金町三電車通電話二五七番　龍山練兵場前停留所　同支店

御用意如何に

男女一代觀相
毎日午前中南龍師出張姓名年齢を語るに及ばず遠隔地は寫眞鑑定
京城旭町一丁目出雲屋方

鑄物職工募集
鑄造に經驗ある日鮮人十數名募集す希望者は履歷書を當所修理課宛て提出すべし
大正七年八月
三菱兼二浦製鐵所

收穫用農具
稻扱　松原鎌、大正鎌（其他各種）
　越前鎌、信州鎌
籾摺臼。篩、箕、
唐箕。萬石、千石、
製可仕候
石ハ材料及寸法御好ミニ應ジ調
製繩機　原式　英式（其他各種）
　卷取式　Tm式
製莚器　足踏式　手織式（其ノ他各種）
肥料　過燐酸　硫酸アンモニヤ
大豆粕　知利硝石　油粕、配合肥料
其ノ他在庫豐富
京城南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部
長電話四〇三
振替京城三七〇八

洗濯石鹼角形專門
角形石鹼元祖　浦本石鹼工場
京城南米倉町二八四番地
電話二一二九四番
振替京城三一三九番

日本に初めて出來た
美乳
の効果！
一滴一滴、日一日と色を白く美くする
男子にも好評
髭剃りのあと、石鹼を洗ひ落して、すっきりとした氣持になったところへ日本に初めて出來た美乳一滴！男子の皮膚の目立たぬ白さに生地から美しくする作用は不思議な位、日一日と美男振を發揮する事が出來る、剃刀まけなども美乳愛用以來全く男子に其聲を聞かなくなった。

妻の心（八十九）

十一の一　小林蹴月作　武内桂舟畫

『然う云ふ譯なのよ、阿母さん、だから今日が今日ご云ふ譯にも行かないけごね、阿兄さんの方は阿兄さんの方こして、是からは乾度妾が引受けて阿母さんに樂をさせる事が出來やうご思ふから、共々に喜んで下さいよね。』

お茶代りの氷ラムネを一口啜つて、若龍は笑ましさうに母親の顏を見ながら、後は少時四房つかひに餘念なかつた。

まあそれは耳よりの話ご云ふもんだが、でもね駒さん、御本妻の立派にお在りなさるお宅へ、妾の身分で一緒に住み込むご云ふ事は十の物の九つまでは先づ難儀なもの三相場が極まつてるんだよ。代議士で實業家でお金持ご云へば、三拍子も四拍子も揃ひ過ぎたほご揃つた旦那樣には違ひないけれごも、お前さんだつてもね、十代の雛妓上りではなし、柳橋でも少しは何だごか彼だごか云はれて居る身なんだから、落籍されたは好いが直に世間の甜菓子にされるやうでは、取返しが付きや爲ないからね。』

末々までも心配するのは、なべての母親の常ではあるが、就中若龍を生んだ母親丈あつて、云ふ事がなか〳〵テキハキして居る。

『そりや大丈夫よ、阿母さん、何も彼も妾承知の上で、落籍される事に話を取極めたんですもの。』

『然うかね。それならまあ妾もその了簡で安心して居ますがね。』ご云ひつゝも、まだ母親は、内心幾分か納得の出來かねたやうな面色である。

『本統に大丈夫なのよ、阿母さん決して心配なんか爲ないで居て頂戴よ。妾、旦那ご云ふ方には……斯う云ふご可笑いやうだけごも……惚れても睡ても何にも爲てや爲ないんだけごもね、その奧樣ご云ふ方の現在のお身の上ごお心持ごに妾も皆同情して了つた結果なのよ。ですからね、假令旦那ごは衝突する事があつても、奧樣ご衝突する氣遣ひは毛頭有りッこないの。平たく云へば、妾ご奧樣ごが、骨肉の姉妹になつた了簡で、同棲しやうご云ふ話なんですから、間違ひッこありや爲ないわ。』

『さあ兎角その骨肉の姉妹になつた了簡ご云ふ奴が危ないもんでね。好い時には膠でクッ著いた程仲の好い事もあらうが、一寸した事の機會から、犬ご猿のやうな反目的が始まりがちのもんで……ね。』

『いゝえ〳〵、町川さんの奧樣に限つては、必ずそんな事がないご見込んだからこそ、妾も到頭承知して了つたのよ。何れ奧樣が圓山病院から退院なさる事になれば、その時妾は奧樣付の女中になつたつもりで、御一緒に駿河臺のお屋敷へ引取られて行く事になつてるんですから、愈々然うなつたら、直に阿母さんの方へも知らして寄越しますわ。』

若龍は、實際町川の落籍談判を承引するに付いて、尋常一樣の妾生活でなく、奧樣付の女中か――左なくも奧樣の妹格ごしてでなければ、町川家の屋敷の門を内へは潜らぬご云ふ條件を附して、久三郎の再考を求めたのであつた。所が、禮子への面當て……澀井への意氣張りより外、何事の思慮分別もない久三郎は、假令三日間でも、若龍の騎子を自分の獨占物にせんでは承知出來ぬご矢も楯もなく燥ち焦つて居た矢先なので、一も二もなく若龍の提出條件を承知して了つた。つまり、禮子ご若龍ごが裏面で彼のやうな複雜つた約束を交した事なごは、一切氣が付かずに居たのである。其處が所謂女に目のない男の弱點で、自分自ら町川家を放逐せられて、行く所もない宿なしであるご公言して居るのにも拘らず、若龍の婉曲なる計策に觸せ込まれて、再び町川家へ立ち歸らざる可らざる順序こなつて了つたのである。若し、歸らぬご云へば、若龍は、忽ち寢返りを打つて『それならば此の落籍相談は御免を蒙ります』ご出かけるのは分りきつた話で、時に取つて久三郎には、それが何よりも苦しく何よりも辛かつたのである。禮子の顏を見るのは厭だが、若龍の顏は見たい。それには何うしても、厭な禮子の顏ご、好きな若龍の顏ごを同時に見るより仕方がないご斷念めたのである。

乃で、若龍も母親には這麼事の經緯までは云はなかつたが、内心の成功は確かに期して疑はずに居た。

『そりや然うご、阿母さん、妾、久し振で來たのに阿兄さんは、まだお歸りないでせうかね。』

『然ればね、もう少し爲たらば、芝居がかぶるでせうから、それまで待つて居てお呉れ。』

斯う云つて居る處へ、がらり格子戸を開けて、『只今』ご入つて歸たのは、噂の賢兄の欣一であつた。

糠味噌を甘味くするには

是からは上等の香の物が欲しい時でありますが、香の物では何うしても糠味噌の美味いのを作る必要があり、糠味噌は先づ無砂搗糠一斗（一貫二百六十匁）へ水四升五合を加へ之れに食鹽三百七十八匁を入れます、之れが標準になつて居ります而して其の割合は好み〳〵で宜しいです之れを捏ねる順序は先づ微温湯四升五合に食鹽を溶解しそれから米糠を入れてよく攪混ぜ、其後は三日ばかり毎日々々手を入てよく混ぜ合せるのであります。そしてそれへ

◇甘藍を　つける。初めの間は糠くさいですが、暫くは辛棒して頂かなくてはなりません之れは糠味噌を醱くする爲です、一體糠味噌の中には適宜の食鹽分が必要であるご同時に、酸味もまた必要であります、勿論ご申してもあまり度に過ぎては困りますが其外香氣こしてエステル類も要り、又蛋白質の分解物から出來るアミドといふものもあるこい。ですが一番簡單な事は甘藍の

◇太い軸　の處を其儘にして何時迄も入れて置く、酸ばくなつても其儘置くのであります。次には大根の莖を五つ六つ其儘入れて置く此の樣にしますご酸味が餘程ついて美味しくなりますが、さて之に御注意すべきはゾンザイな女中なごに任せて置いて糠味噌の中に大根の切り切や甘藍の葉や雜多なものを殘して置かれるとで是では酸味が無闇に殖します。其次の方法こしては醬油樽一本につき約五勺許りの飯を入れるこご次は麹を五勺許りいれるのです然し麹や飯はよく糠味噌が熟れてからでなければ入れてはいけません、又序ながら甘藍を糠味噌に漬ける時には

◇論理上　太い軸のある方を上にして漬ける方がよいやうですがさうするご甘藍を取り出す時内部に溜つてる鹽水がダラダラご出て糠味噌の中にはいり、從つて糠味噌が直にドボドボこなりますから太い軸は下になる樣に實際は漬けます。

日報歌壇

初秋　阪本綺雨

しぶかくカナカナの鳴く初秋はわがたましいのむごころなし

蜩の鳴きのさびしく　松原ゆふさ　見かへればわれは一人の

君はまたいつのこゝろよりか　歌をよみ涙を流す人にてありき

あめつちはわれ等二人のなきがらならば　かれ〴〵に葬らむあわれ

身を歎き君をさびしみ　山行けば　山ばなしも露に抑れて

道の邊の芥にも似てこともなく捨てられしこゝろさびしも

睡れ行くかたみにおもひ酎へんとし二人の心迷へるあはれ

▲初秋の歌を募る

□燒酎（五の日十の日會）　不考郎

○天を仰ぎはらからを呼ぶ汝が燒酎やけの皮膚を見たりや

燒酎の醉こそ足指のいたくふこしさを見よ

母者人厨にせぐゝまりては燒酎の子の幸

牛買自轉車をたてかけ己が燒酎壺を知れり

○　烏堂

燒酎一つぎ我かいなまくり白し

燒酎に口ふる我襟正しからねばならぬ

又白日の燒酎の甕を持ち出しては

草の葉ごがり燒酎をなめ燒酎口ひざく

□土用吟（其の三夜）

日除

日除捲く顏や必ず日赤し　田打夫

漕ぎ日覆弄ぶ風の軒高し　同

海の風背に日除して果物屋　青丘

店の中身弱き起居日覆撤る　青光雨

蓮

日蓮に月得て松の動くさかな　水子

蓮刈られ殘りて風雨日毎かな　青丘

□草月鈔

△

鐘聲の時明りして湖涼し

白合夕べ陽脚ある爺に牛洗ふ

蛙啼打つ音聞ね來るや土用干　鯊尾

△

日凉し海風に消ゆ陣の灯

露に靑穗つけし野栗哉

冰ぎ衣を瀝ぐ蟬虫世略きす

迄後醍醐貫ひし大魚見せらる　瓜青

△

ひ次ぎ〳〵に下り來夏野の果灯る

の衣入るゝ籠や夕燒けて

古島雛下りて泳ぐ水馥か　瓜青

△

夏野を照らす馬來る門前に

明けし風納骨の蛸經澄む

風げる錄幹の庭に土龍もつ

所へ淺夜取りに閑古鳥　瓜青

新刊紹介（到着順）

▲朝鮮鑛業會誌（一の八）佐藤信淵の山相學に就て（三）（渡邊博士）韓末一班（八）（鈴木博士）滿洲産の鐵礦及岩石標本の解說（神保博士）米國鑛業銀行談（川崎學士）朝鮮鑛業の現勢、金鑛業ご合作本位、其他鑛業に關する有益なる記事論文十數頁掲載有中朝鮮鑛産物輸移出入表、出願表、朝鮮鑛業處分等の一錄あり（四十錢）京城南山町二の二七朝鮮鑛業會

▲露西亞評論（一の六）聯合國の對露策、露西亞は工業中心を西伯利に移せ、二つの道、消息二章、露國過激政府ご人擴張歐、露西亞の再生、統治下の猶太人、最近露國、露西亞田園文明の總狀、大學生街頭の露、露譯、露國の「說話」の研究、大學生ペチアゲトフ（小說）其他（二十五錢）東京赤坂丹後町五地露國文藝

▲寫眞タイムス（一二〇）天皇陛下帝國大學行幸ご初め新任臨海軍大將、七夕まつり、空中文明展覽會、軍艦河内の沈沒、南洋土人の内地觀光、赤十字救護班出發、佛蘭行期、高空より爆彈つる光景、其他内外時事の鮮麗なる寫眞三十餘頁（二十五錢）東京京橋新肴町入明治製版所

讀者の領分

▲軍司令部へ御尋ね致します私は第十三師團管區長野縣出身者に有之明治三十八年近衛師團輜重兵第十三聯隊へ入營現役を終りたるものに有之候へ共今回第一豫備命令を受くる場合は近衛師團に屬するものに有之候や又は第十三師團に屬するものか右不案内に甚だ恐入候へ共本欄に御教示に預り度御願ひ申上候（全南生）▲某町大通り相當の商人此度の貧民救助の目的を以て販賣する米を使用の雇人數名に救助券を交附方を各所に受けたるを見受けたそれが應分の寄附する身分でありながら慾張も甚しいあんな事をすると姓名を素破拔くぞ（松の字）▲先月の始め頃洋傘の柄がへしを頼みましたが今に持つてまゐりませんで困つて居りますので若しや詐欺ではないかと思つて居ります所は明治町さやらでくわしく存じませんから御存じのお方はごうぞ御知らせ下さいませ（南山町の女）▲愛獵家に稀ふ村田式五連發にて猛獸狩りに適す價格低廉にて讓渡す御希望あらば現品御一覽あれ（黃金町一ノ六二渡邊）▲私は本月七日午后十時頃吉野町一丁目三八の自宅から萬國公園の廣場に參る間にて革製錢入を遺失しました金は極些少ですが中に必要の書類ご認印等が入りて居まして大に困つて居ます若し御拾ひの御方にて御届けになりましたか又は御心當りがありますれば何卒本欄にて御知らせ下され度御願ひ致します（吉野町困却生）▲私は明治四十三年秋頃某吳服店員より反物二十三反預り居り候處後ちに其店員と知りしも致方無く預り居りしが其店員が警察に引かれ裁判の結果一年の罪に落ちました私も贓物故品物で四箇月に二十五圓の罰金を喰ましたが最早や丸七年さ二箇月になりますが其れよりは尚一段につゝしみ以前よりの營業にて働き居り升が今度外國に行きたいと思ひますが旅行免狀が下るでしやうか左無くば古物商を營み度いと思ひます許可に成るでしようか何卒委敷御知せ被下度御願ひ申上候（一犯者）▲總督府立獸醫學校入學期又卒業年限入學に際し試驗有無若しありとすれば其程度學科卒業後に於ける資格等を愛讀諸氏の中に御承知ならば誠に御迷惑乍ら何卒御紙へ下され度く願申候（新潟縣民の人）

◎交戰國の將校缺乏

[illegible]それでも三四箇月の訓練をすれば兎に角戰鬪に從事する事が出來る[illegible]女ならぬ苦心して[illegible]るのである殊に歐洲以來初めて[illegible]こなしたがその成績は決して善くないそれはその害である將校は我[illegible]れば砲工學校尚ほ進んで戰術の蘊奧を極めんこ欲すれば陸軍大學に[illegible]も拘らず陸軍では今尚ほ一度志願兵の成績を疑つて居る次第である

▲志願者を失ふ[illegible]のであるから一[illegible]軍の行動が機敏を缺き作戰計畫に[illegible]あるから此種の將校の不足は戰爭そのものを困難ならしむるので[illegible]ば國家有事の際に臨みて意外の困難に遭遇するもこ思ふ（英將軍談）

▲廣告▼

男女粋草紙

▼一日千秋珍書界の勤員令下る
▼情界歷戰の勇士速かに愛讀せよ
▼天下第一來の珍本

珍本

美人粋書六枚入

粋書

送料共一圓にて密送

東京神田區西小川町二ノ七

大美堂

振替東京二一六四